

茨城県移動性・安全性向上委員会

第38回委員会資料 (安全性)

令和8年8月17日

国土交通省 常陸河川国道事務所
茨城県土木部

目 次

1. これまでの経緯	p2
2. 第37回委員会における主な指摘事項と対応	p4
3. 対策効果未発現箇所の追加対策検討	p9
4. 第7期までの事故ゼロプランのフォローアップ.....	p18
5. 幹線道路の交通安全対策検討	p23
6. 生活道路の交通安全対策検討	p35
7. 今後のスケジュール	p38

1. これまでの経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の経緯

- ・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加対策の検討をしてまいりました。
- ・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、事故危険区間を選定するルール(基準)を設定し、現時点までで第1期～第8期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきております。

■これまでの主な検討内容

委員会		事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定(国146区間、県383区間) ・事故危険区間の代表61区間の設定(国52区間、県9区間)
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討(個別調書の作成)
平成24年度	第5・6・7・8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討(追加およびフォローアップ) ・新たな事故危険区間90区間(第2期事故危険区間)の設定(最新データによる選定:国23区間、県67区間)
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間(第2期事故危険区間)の追加(アンケートによる選定:国14区間、県10区間) ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H25事故危険箇所:国13区間、県28区間)
平成26年度	第12・13・14回	・新たな事故危険区間126区間(第3期事故危険区間)の選定(最新データおよびITデータによる選定:国69区間、県57区間)
平成27年度	第15・17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H29事故危険箇所:国11区間、県19区間)
平成28年度	第18・19回	・新たな事故危険区間64区間(第4期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国35区間、県29区間)
平成29年度	第20・21回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間)の検討
平成30年度	第22・23回	・新たな事故危険区間103区間(第5期事故危険区間)の設定(最新データおよび最新指標値による選定:国19区間、県84区間)
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア(第5期事故危険区間(エリア))の設定(最新データによる選定:国4エリア、県17エリア)
令和2年度	第26回・第27回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間(エリア))の設定 ・対策完了(卒業)ルールの検討
令和3年度	第28回・第29回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国27区間、県20区間) ・第5次事故危険箇所29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(事故危険箇所:国11区間、県18区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定
令和4年度	第30回・第31回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)・対策効果未発現箇所の対策検討 ・対策完了(卒業)判定の結果、国31区間、県26区間が対策完了と判定 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定方針の検討
令和5年度	第32回・第33回	・対策効果未発現箇所の対策検討 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国12区間、県10区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国6区間、県37区間が対策完了と判定 ・ゾーン30プラス(県内5エリアで整備あるいは整備計画策定済)
令和6年度	第34回・第35回	・幹線道路の交通安全対策検討(第7期事故危険区間(国12区間・県10区間)・対策効果未発現箇所(県3区間)の対策検討) ・生活道路の交通安全対策検討(ゾーン30プラスの整備計画(新たな1エリア)) ・対策完了(卒業)判定の結果、国4区間、県22区間が対策完了と判定
令和7年度	第36回・第37回	・今後の事故ゼロプランの進め方の検討 ・新たな事故危険区間127区間(第8期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国68区間、県57区間) ・第8期事故危険区間の対策優先度検討

2. 第37回委員会における主な指摘事項と対応

- これまでの事故ゼロプランの総括について
- 一般国道50号水戸市大工町交差点について
- 一般県道237号つくば市吾妻1丁目南交差点について
- 主要地方道19号つくば市大境交差点(付近)について

第37回委員会における主な指摘事項と対応

・第37回委員会でご指摘を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

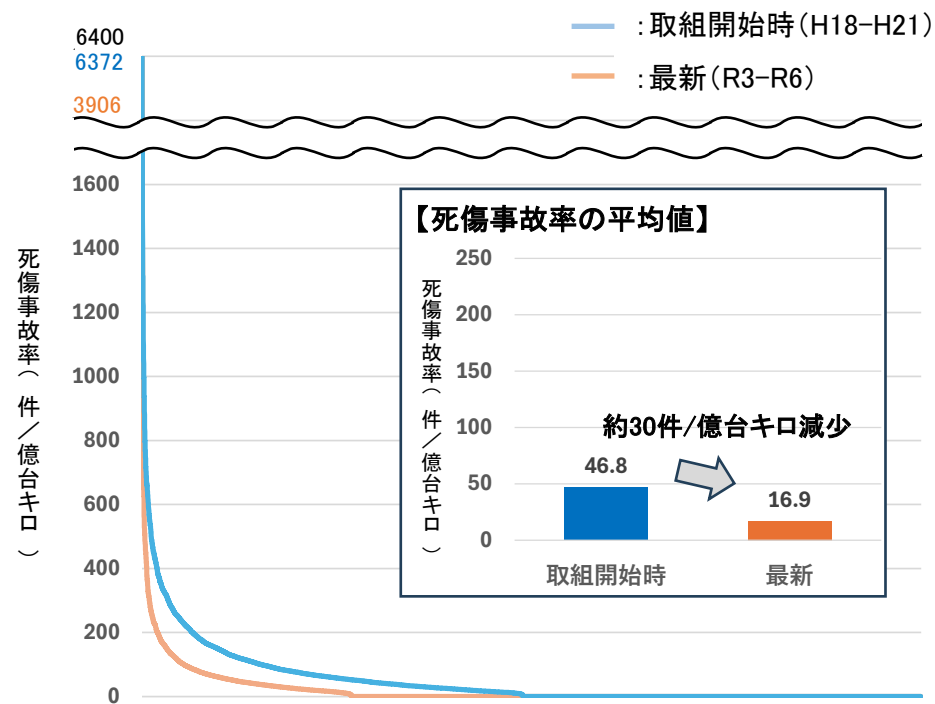
議事	指摘事項	対応方針(案)
これまでの事故ゼロプランの 総括について	対策実施箇所の事故率の変化と、未実施箇所の事故率の変化を比較した効果検証結果も確認したい。	P6にて、対策実施箇所と未実施箇所の事故率の変化を比較した効果検証結果についてご説明します。
	対策工種別に効果検証を行い、箇所の特性に応じた有効な対策について整理できると良い。	P7にて、箇所や事故の特性に応じた有効な対策について整理した結果をご説明します。
一般国道50号水戸市大工町 交差点について	全体的な交差点改良が必要であり、長期的な視点でどのように整備するか検討すべきである。	P27にて、対策検討した結果をご説明します。
一般県道237号つくば市 吾妻1丁目南交差点について	つくばセンター地区については、エリア全体で交通流を分析し、適切に分散させるべきである。	交差点単独でみた短期対策は検討していますが、当該交差点を含むエリア全体における、交通の動きなどの分析についても、中長期的な検討事項であると考えております。
	エリア全体を道路・都市計画の両面から総合的に検討できると良い。	
主要地方道19号つくば市大境 交差点(付近)について	当該交差点手前の区間で、3車線から2車線に絞り込まれているため、不慣れなドライバーは混乱する可能性があり危険である。	車線減少に伴うドライバーの混乱を防止する対策を検討しましたので、P8にて、対策検討した結果をご説明します。
	自転車事故を減少させるため、自転車活用推進計画等に基づき、自転車を車道に誘導することも有効な対策である。	

これまでの事故ゼロプランの総括について: 対策有無の事故率の変化

- ・事故ゼロプラン取組開始時と比べると死傷事故率が減少しており、特に対策実施箇所においては、対策未実施箇所と比較して死傷事故率の平均値も大きく減少しています。
- ・この結果から、事故ゼロプランの取組の効果が確認できます。

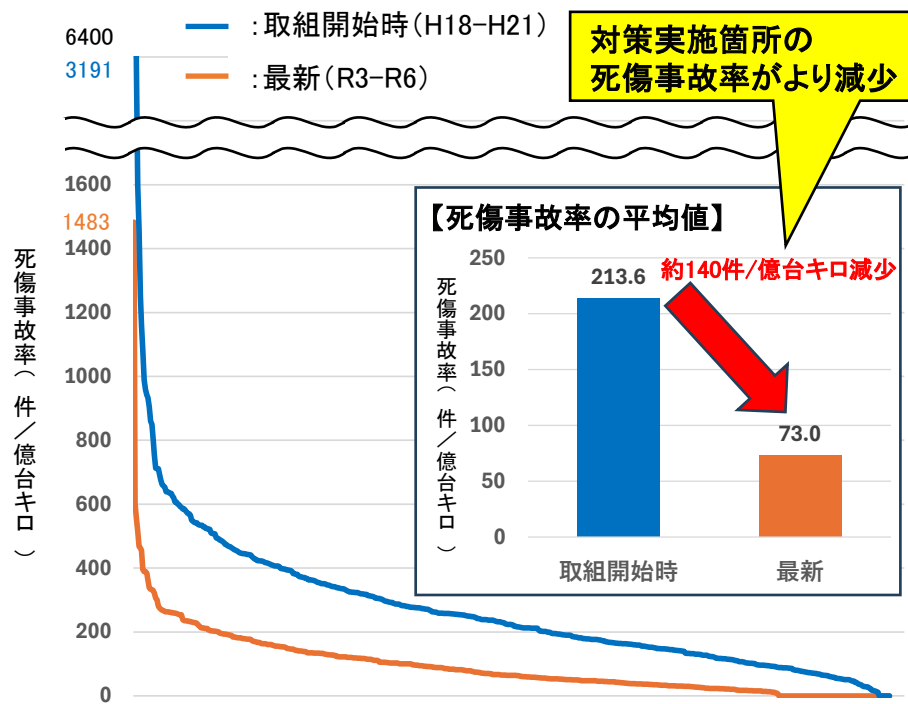
【事故ゼロプラン取組開始時と最新の死傷事故率の変化】

■対策未実施箇所



茨城県幹線道路の区間数(24,289区間)

■対策実施箇所



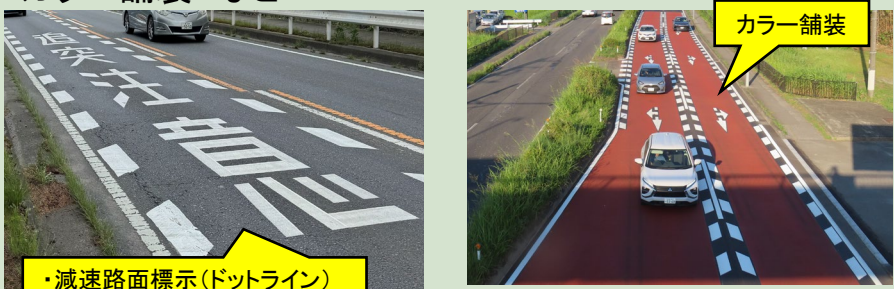
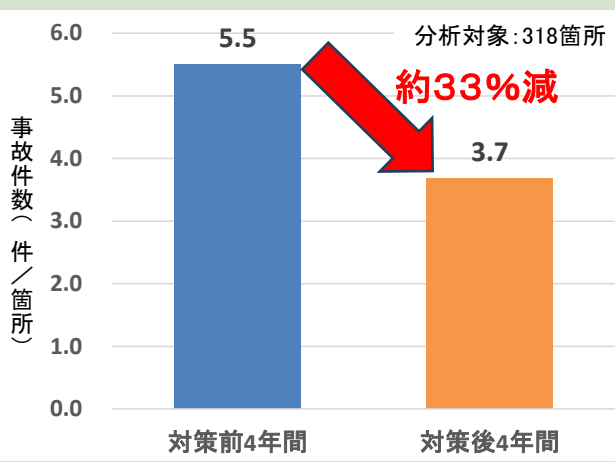
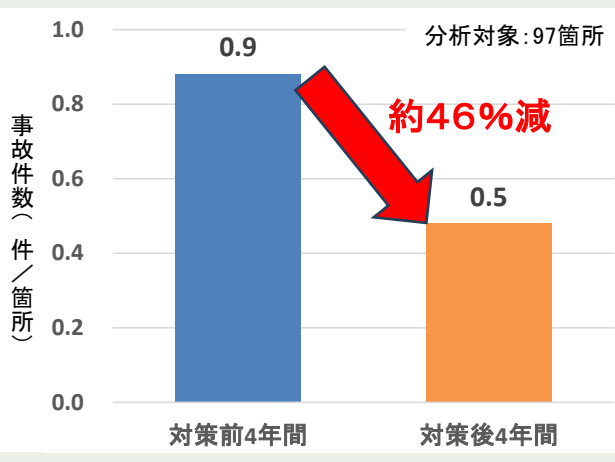
茨城県幹線道路の区間数(588区間)

※対策実施箇所は、第1期代表区間外を含む

※出典：(公財)交通事故総合分析センター 交通事故統合データ(H18-H21、R3-R6)

これまでの事故ゼロプランの総括について：対策工種別の効果検証

- 管内の特徴的な事故である「追突事故」と「出会い頭事故」に着目し、事故ゼロプランで実施した対策の効果検証を行いました。
- 追突事故は減速路面標示やカラー舗装等により約33%減少し、出会い頭事故は交差点コンパクト化等により、約46%数が減少しています。

事故類型	対策内容	死傷事故件数の推移
追突事故	- 減速路面標示(ドットライン) - 路面標示「追突注意」 - カラー舗装 など 	 分析対象: 318箇所 約33%減 5.5 3.7 事故件数(件/箇所) 対策前4年間 対策後4年間
出会い頭事故	- 交差点コンパクト化(停止線、横断歩道の前出し) - 路面標示「交差点注意」 - 法定外看板「交差点注意」 など 	 分析対象: 97箇所 約46%減 0.9 0.5 事故件数(件/箇所) 対策前4年間 対策後4年間

主要地方道19号つくば市大境交差点(付近)について

・前回委員会のご意見を踏まえ、下記の通り対策案の見直しを行いました。

位置図



事故発生状況

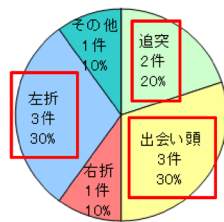
R2-R5事故データ(最新4年)

- ・死傷事故件数: 10件
- ・該当指標: 死傷事故件数10件(10件以上)、死傷事故率と死傷事故件数(100件/億台キロかつ8件以上)、小規模交差点の事故集中箇所(県5以上)

※当該箇所は、第8期事故危険区間、第6次事故危険箇所として選定。

事故類型

R2-R5の合計事故件数(10件)



□: 簡易事故

選定の視点

事故対策検討箇所				
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A
●(事故件数)	—	—	●(死傷事故率と死傷事故件数、小規模交差点事故集中箇所)	—

事故発生状況

- ① 左折事故 単路部(沿道施設出入り口)で3件発生(すべて対自転車)
- ② 出会い頭事故 交差点付近で3件発生
- ③ 追突事故 交差点付近の単路部で2件発生



要因分析と対策方針

※「短期」: 道路管理者の判断で対策実施可能な対策 「長期」: 対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

新たな着目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容案※	
①左折事故	縦断線形が渡河部を底にしたサグになっており、上下線ともに制限速度を超過して走行しやすく、安全確認が不十分な状態で沿道施設に進入しやすい	速度抑制	①減速路面標示(ドットライン)	短期
②出会い頭事故	縦断線形が渡河部を底にしたサグになっており、制限速度を超過して走行しやすく、交差点への無理な進入が生じやすい	速度抑制 注意喚起	①減速路面標示(ドットライン) ②路面標示(交差点注意)	短期
③追突事故	縦断線形が渡河部を底にしたサグになっており、制限速度を超過して走行しやすい	速度抑制 注意喚起	①減速路面標示(ドットライン) ③路面標示(追突注意)	短期
	上流部の走行性の高い区間で3車線から2車線に絞り込まれるため、当該区間で交通密度が高くなり、走行速度・車間距離がばらつくなど交通が乱れやすい	注意喚起	④路面標示(車線減少+矢印)(追加) ⑤注意喚起看板(車線減少)(追加)	短期

事故対策の立案

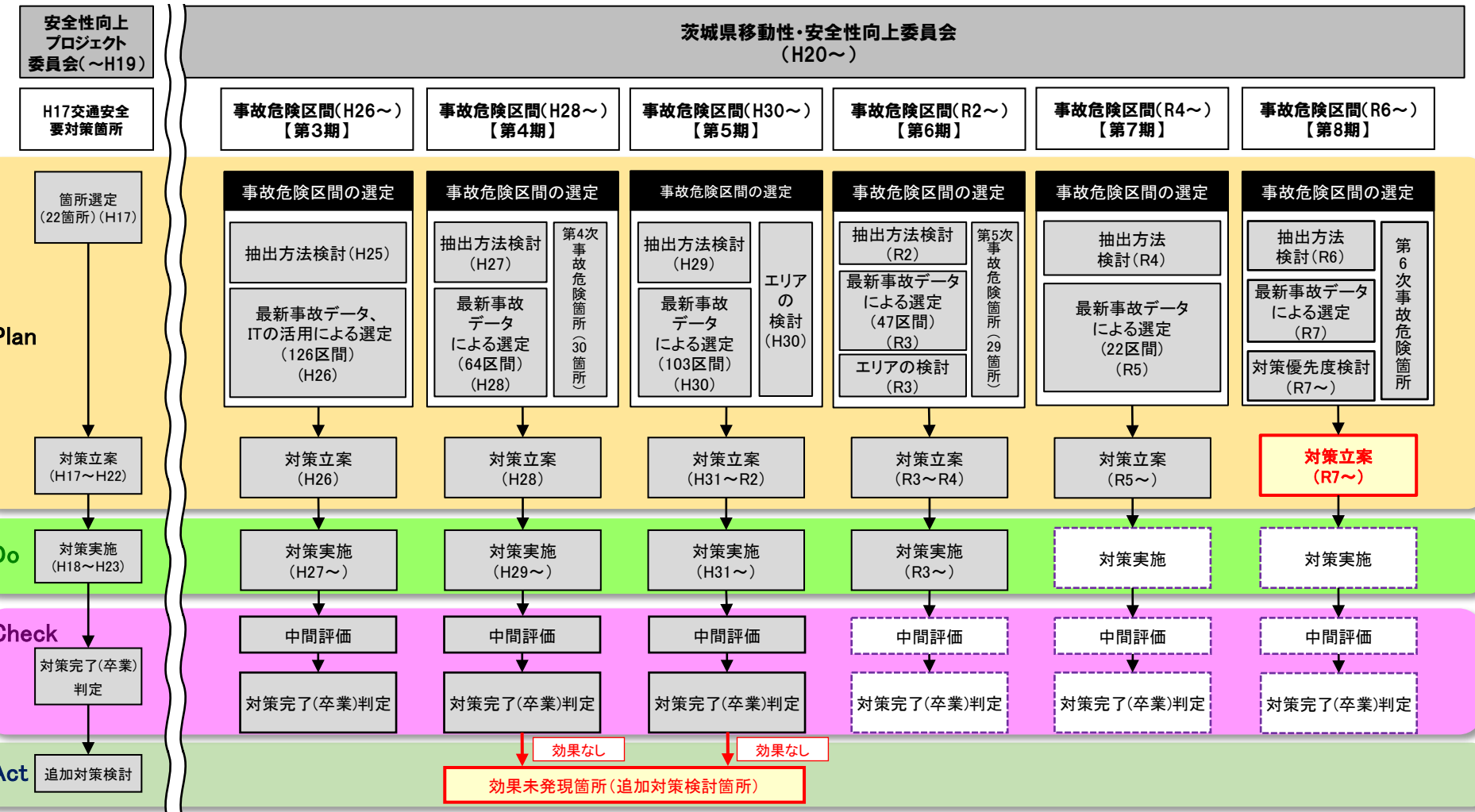


3. 対策効果未発現箇所の追加対策検討

- 事故ゼロプランの取り組みについて
- 事故ゼロプラン対策完了(卒業)の考え方について
- 【国管理】対策効果未発現箇所の追加対策検討
- 【県管理】対策効果未発現箇所の追加対策検討

事故ゼロプランの取り組みについて

- ・前回の第37回委員会では、事故危険区間の「中間評価」および「対策完了(卒業)判定」について確認しました。
- ・今回の委員会では、「効果未発現箇所の追加対策検討」および「第8期事故ゼロプラン(優先度①)の対策立案」について取り上げます。



：検討・実施済の項目

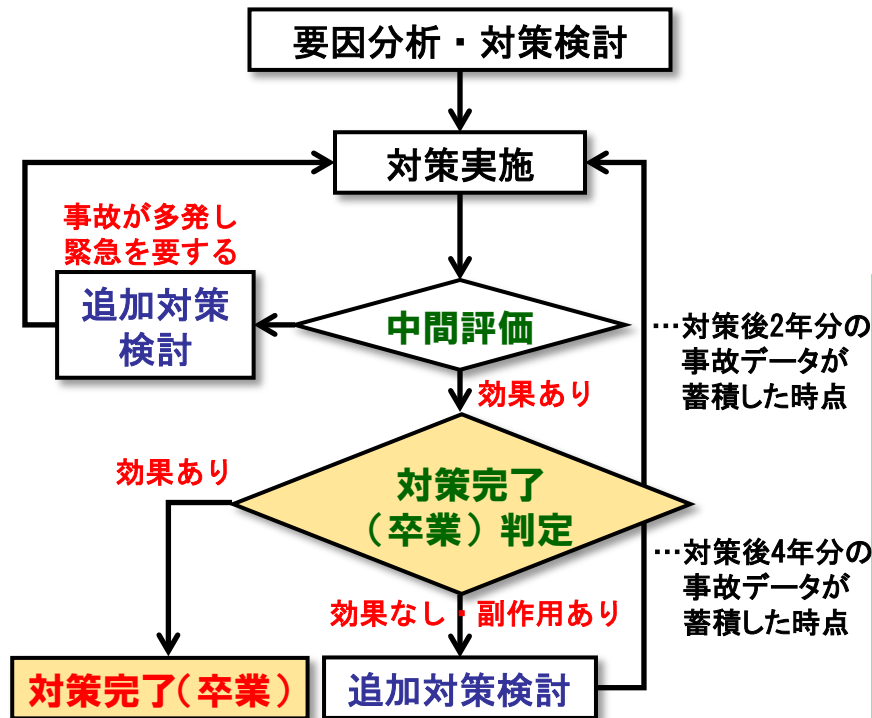
：今回委員会で取り上げる項目

：今後実施する項目

対策完了(卒業)の考え方について

- ・対策実施後の事故データが4年分蓄積した時点で、「対策完了(卒業)判定」を実施します。
- ・判定は、以下の内容で評価を行います。
 - ①事故件数の減少に閾値を設ける(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
 - ②「最新(第8期)」の事故危険区間選定指標の合致状況を確認

■対策完了(卒業)判定の実施フロー



中間評価

■対象

対策実施後の事故データが2年分蓄積した箇所

■効果評価の視点

- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)
- ②対策前後で事故の種類(着目事故)の変化や当事者別の発生件数を比較(副作用検証)

対策完了(卒業)判定

■対象

対策実施後の事故データが4年分蓄積した箇所

■効果評価の視点

- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
 - ②最新(第8期)の事故危険区間選定指標に該当しないことを確認
- ⇒①、②の両方を満たす箇所を対策完了(卒業)とする
ただし、事故データ以外で選定された箇所(アンケート等)については対策前の事故が少ないことも考えられるため、②の判定のみとする。

【国管理】効果未発現箇所の追加対策検討(1区間)

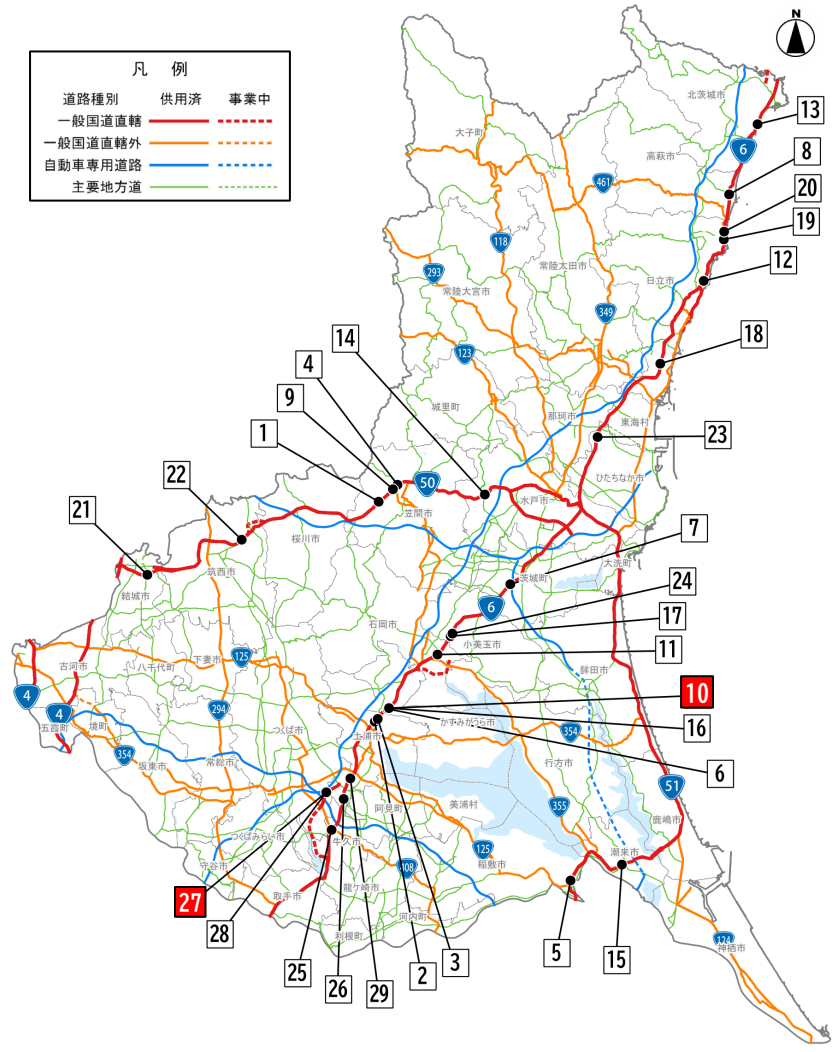
・第37回委員会の中間評価による追加対策区間のうち、国管理の下記1区間について、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

【R2～R3対策箇所（中間評価箇所）】

※事故データ
・対策前:選定時
・対策後:R4～R5

ID	区分	管理者	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数 (件/年)			前日事故件数 (件/年)			第8期事故 危険区間 該当
							対策前	対策後	事故 増減	前日事故 対策前	前日事故 対策後	前日事故 増減	
1	第2期アンケート (H24選定)	国	一般国道50号	笠間市	稲田文差点	R03	2.0	0.5	減少	追突	1.3	0.5	
2	第3期ITデータ (H26選定)	国	一般国道6号	土浦市	6号バイパス中貫入口交差点南 (区間)	R03	4.3	2.5	減少	追突	4.3	2.5	●
3	第3期ITデータ (H26選定)	国	一般国道6号	土浦市	6号バイパス中貫入口交差点北 (区間)	R03	2.0	1.5	減少	追突	2.0	1.0	●
4	第3期ITデータ (H26選定)	国	一般国道50号	笠間市	石井文差点	R03	2.0	0.0	減少	追突	0.8	0.0	
5	第3期ITデータ (H26選定)	国	一般国道51号	稲敷市	佐原下手 (文差点)	R03	1.3	0.5	減少	追突	0.5	0.0	
6	第4期 (H28選定)	国	一般国道6号	かすみがうら市	上稲吉文差点付近 (区間) ①	R03	5.0	0.5	減少	左折	1.3	0.0	
7	第4期 (H28選定)	国	一般国道6号	茨城県 茨城県	茨城東高校北文差点	R03	2.5	1.0	減少	追突	2.0	0.5	
8	第4期 (H28選定)	国	一般国道6号	高萩市	高戸文差点	R03	2.5	2.0	減少	追突	1.8	1.0	
9	第4期 (H28選定)	国	一般国道50号	笠間市	石井 (区間)	R03	2.3	0.0	減少	追突	1.3	0.0	
10	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	かすみがうら市	上稲吉文差点付近 (区間) ②	R03	2.8	4.5	増加	追突	2.0	3.5	●
11	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	右間市	鳩台1丁目 (区間)	R03	3.0	2.0	減少	正面衝突	0.8	0.0	
12	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	日立市	田尻町文差点	R03	1.5	0.5	減少	追突	1.3	0.5	
13	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	北茨城市	磯原町 (区間)	R03	1.5	0.0	減少	左折	0.5	0.0	
14	第5期 (H30選定)	国	一般国道50号	水戸市	有賀南文差点	R03	2.8	0.5	減少	右折	0.5	0.0	
15	第5期 (H30選定)	国	一般国道51号	潮来市	辻 (区間)	R03	1.0	0.5	減少	追突	0.8	0.5	
16	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	かすみがうら市	上稲吉文差点	R03	1.8	0.5	減少	正面衝突	0.8	0.0	
17	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	小美玉市	竹原文差点	R03	1.5	0.0	減少	追突	0.8	0.5	
18	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	日立市	台原団地入口交差点	R03	3.3	0.0	減少	人対車両	0.3	0.0	
19	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	日立市	伊勢浜文差点	R03	1.0	0.0	減少	追突	0.5	0.0	
20	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	日立市	伊勢文差点付近 (区間)	R03	1.3	0.0	減少	追突	0.5	0.0	
21	第4次 (H28指定)	国	一般国道50号	結城市	鹿沼運動公園入口交差点	R03	1.3	0.5	減少	左折	0.8	0.0	
22	第4次 (H28指定)	国	一般国道50号	筑西市	門井 (区間)	R03	2.3	0.0	減少	右折	0.5	0.5	
23	第4次 (H28指定)	国	一般国道6号	ひたさな市	佐和中西文差点付近 (区間)	R03	1.3	0.0	減少	追突	1.5	0.0	
24	第4期 (H28選定)	国	一般国道6号	小美玉市	竹原下郷 (区間)	R02	1.5	1.0	減少	追突	1.3	0.0	
25	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	牛久市	学園都市南入口交差点付近 (区間) ②	R02	3.0	0.0	減少	車両半損	0.5	0.0	
26	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	土浦市	荒川沖 (区間)	R02	2.3	0.0	減少	追突	0.8	0.5	
27	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	つくば市	稲岡西文差点	R02	1.3	1.0	減少	追突	2.0	0.0	
28	第5期 (H30選定)	国	一般国道6号	つくば市	稲岡文差点付近	R02	1.3	1.0	減少	出会い頭	0.8	0.0	
29	第1期代表区間 (H22選定)	国	一般国道6号	土浦市	原の前文差点	R02	3.3	0.0	減少	追突	0.3	0.5	増加

【対策箇所位置図】

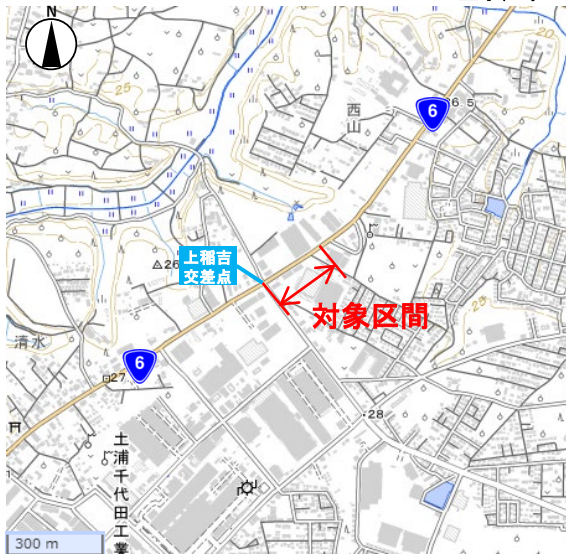


注1) 対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

現状分析結果：一般国道6号かすみがうら市上稲吉交差点付近(区間)

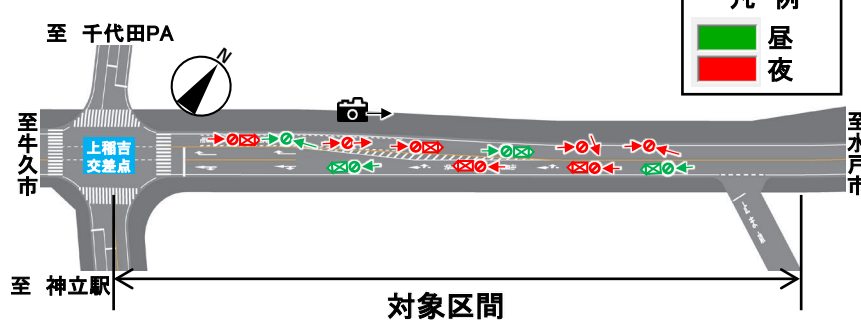
・当該区間では令和3年に対策を実施したものの、近年事故が増加しているため(下り車線に集中)、追加対策検討を行いました。

【位置図】



背景地図：国土地理院地図

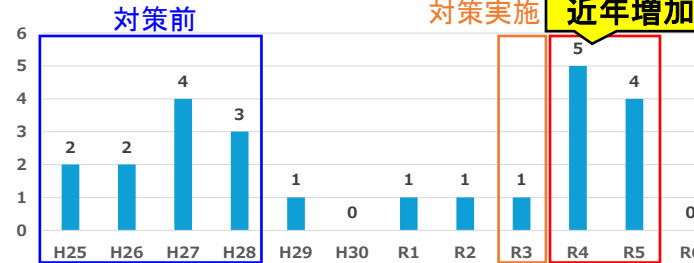
【選定時の事故発生状況(H25～H28)】



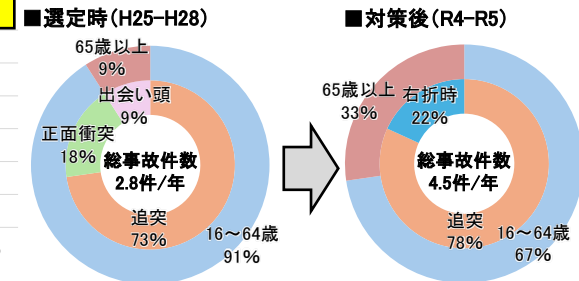
現地写真



死傷事故件数の推移(件/年)



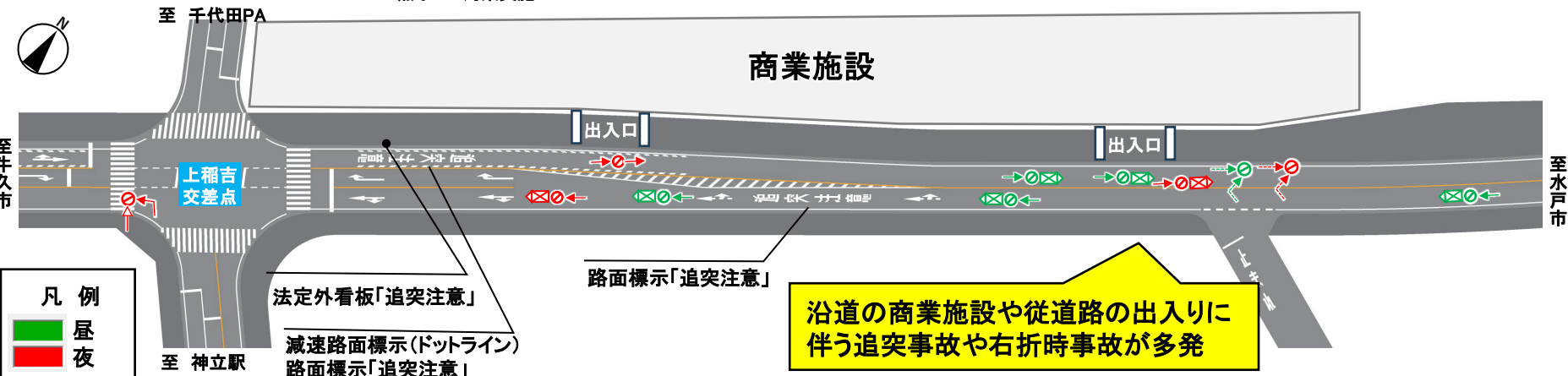
対策前後での事故発生状況の比較



※出典：(公財)交通事故総合分析センター 交通事故総合データ(H22-R6)

【最新の事故発生状況(R4～R6)】

黒字：R3対策実施



追加対策検討結果：一般国道6号かすみがうら市上稲吉交差点付近（区間）

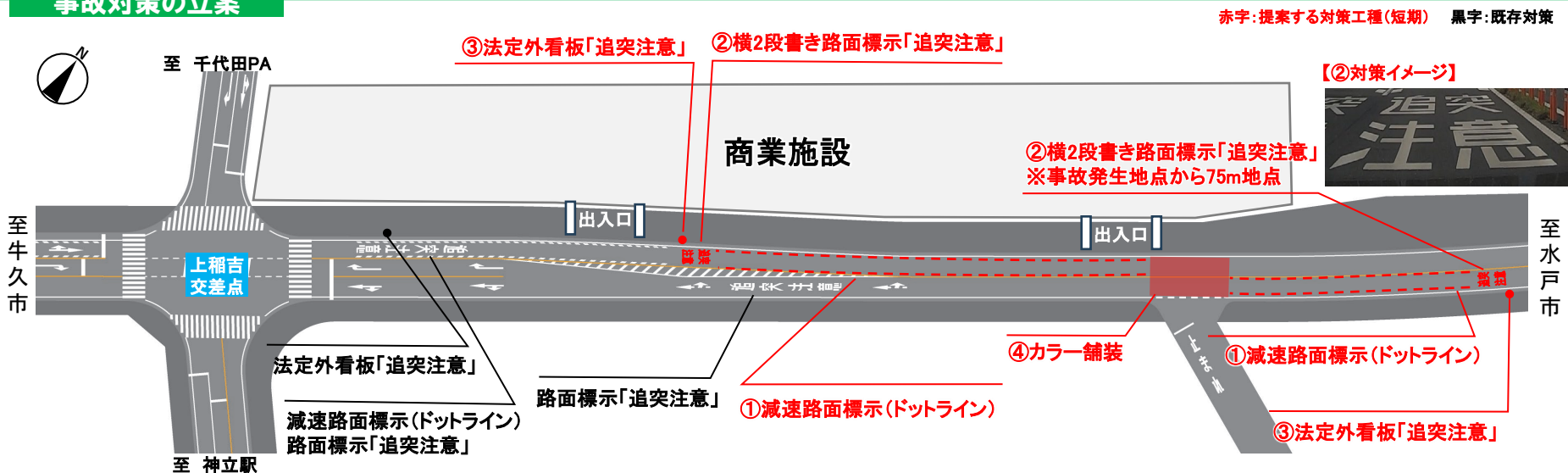
・現状分析、要因分析を踏まえて、対策を下記の通りとしております。

要因分析と対策方針

着目事故	要因	対策方針	具体の対策内容案 ※
追突事故	沿道の商業施設の出入り車両に伴う急減速が発生	車両の速度抑制	①減速路面標示(ドットライン) 短期
		運転者への注意喚起	②横2段書き路面標示「追突注意」 短期
			③法定外看板「追突注意」 短期
右折時事故	上り車線(牛久市方面)が渋滞しており、従道路から右折で本線合流する際に、下り車線(水戸市方面)の車両が視認しにくい	運転者への注意喚起	④カラー舗装 短期

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策 「中長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

事故対策の立案

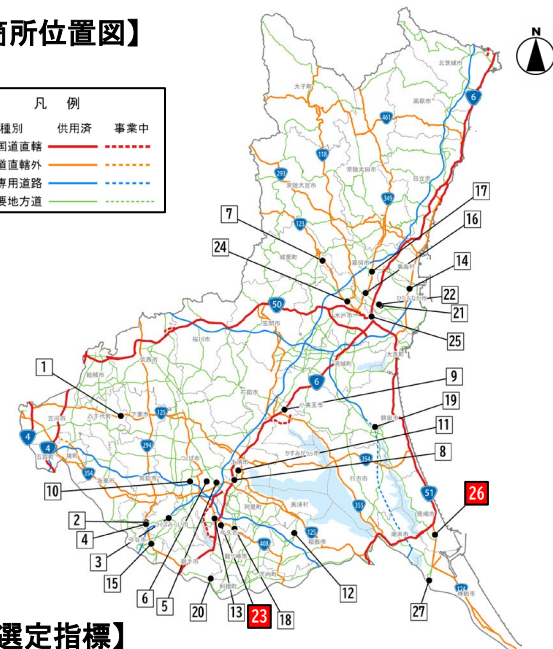


- 【R1対策箇所(対策完了(卒業)判定)】

【対策箇所位置図】

凡 例

道路種別	供用済	事業中
一般国道直轄	——	----
一般国道直轄外	——	----
自動車専用道路	——	----
主要地方道	——	----



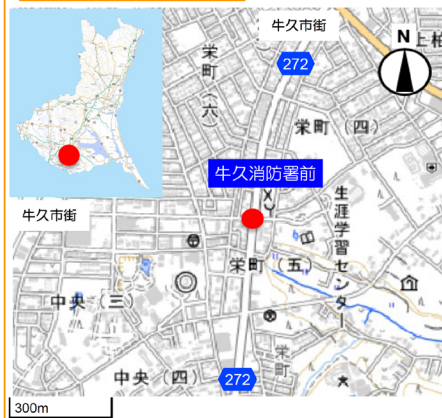
【第8期選定指標】

■:指標該當

追加対策検討結果：一般県道272号 牛久消防署前交差点

- ・当該交差点は、令和元年に対策を実施したものの事故が減少しておらず、第8期事故危険区間に該当しています。
- ・そのため、新たな着目事故・事故発生要因を踏まえ、下記の通り追加対策検討を行いました。

位置図



事故発生状況

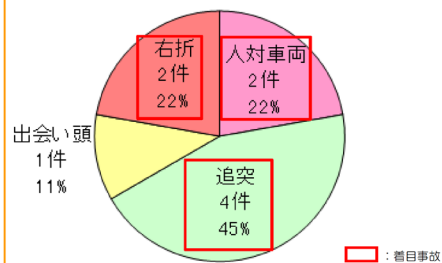
R2-R5事故データ(最新4年)

- ・死傷事故件数：9件
- ・該当指標：死傷事故率と死傷事故件数(100件/億台キロかつ8件以上)

※当該箇所は、第8期事故危険区間として選定

事故類型

R2-R5の合計事故件数(9件)



選定の視点

事故対策検討箇所					
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A	基準B
—	—	—	死傷事故率と死傷事故件数	—	—

事故発生状況

- ① 追突事故 交差点付近で4件発生
- ② 右折事故 交差点部で2件発生(すべて対自転車)
- ③ 人対車両事故 交差点の横断中に2件発生



📷 現地写真

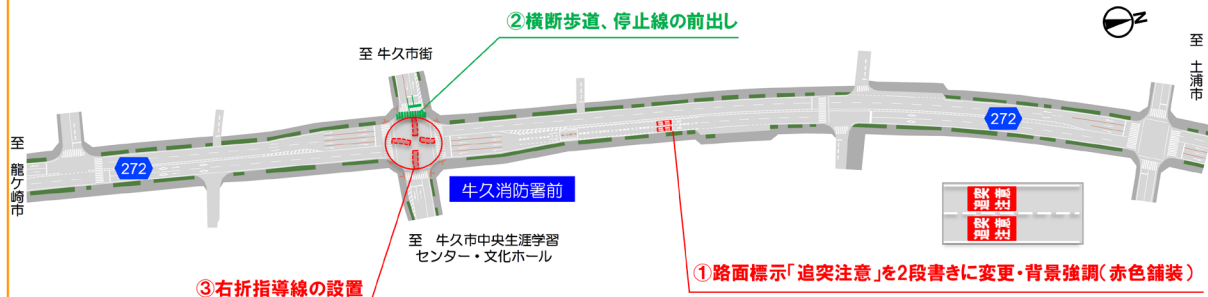


要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策
「中期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策
「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

新たな着目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容※
追突事故 (南進流入部)	信号変化時の前方車両の停止挙動や沿道施設出入り車両に伴う停止挙動への対応が遅れがち	注意喚起	①路面標示「追突注意」を2段階書きに変更・背景強調(赤色舗装) 短期
右折事故	横断歩道が交差点中心から少し下がった位置にあり、右折車から横断歩道を走行する自転車を視認しにくい	交差点のコンパクト化 右折車両の走行位置安定化	②横断歩道・停止線の前出し 長期 ③右折指導線の設置 短期
人対車両事故	横断歩道が交差点中心から少し下がった位置にあり、右折車から横断歩道を通行する歩行者を視認しにくい	交差点のコンパクト化 右折車両の走行位置安定化	②横断歩道・停止線の前出し 長期 ③右折指導線の設置 短期

事故対策の立案



追加対策検討結果：一般国道124号 勤労文化会館西交差点

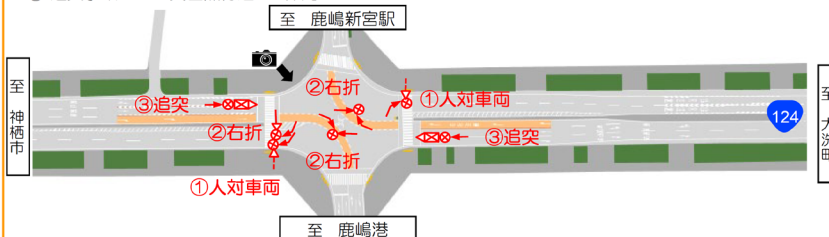
- ・当該交差点は、令和元年に対策を実施したものの事故が減少しておらず、第8期事故危険区間に該当しています。
- ・そのため、新たな着目事故・事故発生要因を踏まえ、下記の通り追加対策検討を行いました。

位置図



事故発生状況

- ① 人対車両事故 交差点部で横断中に2件発生
- ② 右折事故 交差点部で3件発生（うち対自転車1件）
- ③ 追突事故 交差点付近で2件発生



📷 現地写真



要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策
「中期」、「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

新たな着目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容案※
人対車両事故（右折時）	交差点、隅切り半径が大きく、高い速度を保ったまま右折しやすい 国道側は右折車両の停止位置が明示されておらず、市道側は右折指導線もなく、右折車両の走行位置・停止位置が定まらず、横断車との交錯が危険になりやすい	交差点のコンパクト化 停止位置、走行位置の安定化	① 横断歩道・停止線の前出し [長期] ② 右折指導線の整備 ・主道路（国道側）：右折指導線の引き直し ・従道路：右折指導線、停止線を設置 [短期]
右折事故（右折×直進）	国道側は右折車両の停止位置が明示されておらず、市道側は右折指導線もなく、右折車両の走行位置・停止位置が定まらず、対向直進車との交錯が危険になりやすい	停止位置、走行位置の安定化	② 右折指導線の整備 ・主道路（国道側）：右折指導線の引き直し ・従道路：右折指導線、停止線を設置 [短期]

事故発生状況

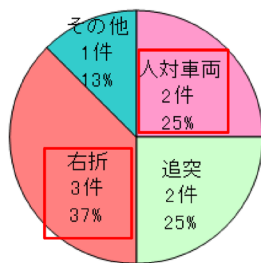
R2-R5事故データ(選定時)

- ・死傷事故件数：8件
- ・該当指標：死傷事故率と死傷事故件数（100件/億台キロかつ8件以上）

※当該箇所は、第8期事故危険区間として選定

事故類型

R2-R5の合計事故件数（8件）

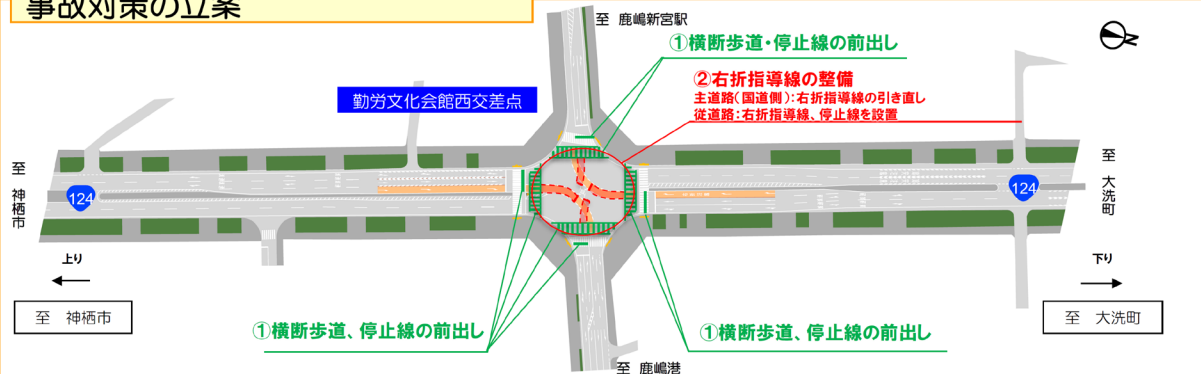


📌 着目事故

選定の視点

事故対策検討箇所					
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A	基準B
—	—	—	死傷事故率と死傷事故件数	—	—

事故対策の立案



4. 第7期までの事故ゼロプランのフォローアップ

- ・ 対策未定箇所における対策の必要性検討

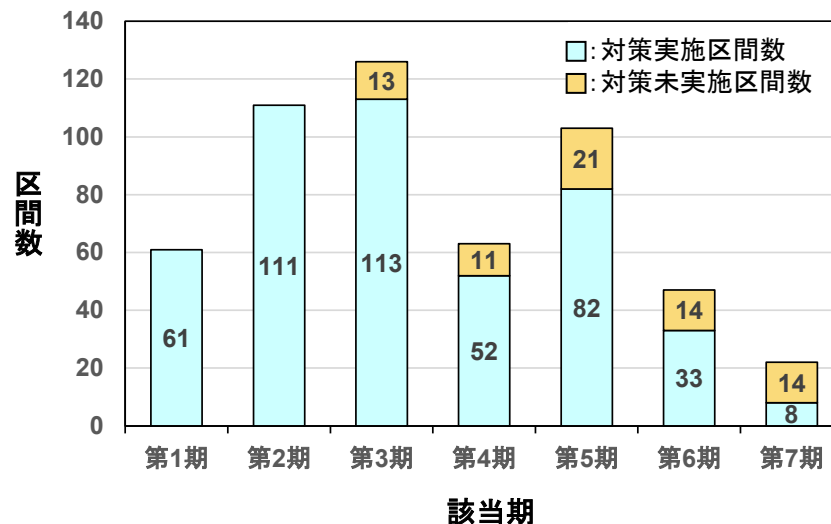
対策未定箇所における対策の必要性検討

- ・前回委員会において、第1期～第7期までの事故ゼロプランの対策進捗状況を確認し、対策未定箇所について説明しました。
- ・今回委員会では、対策未定箇所の対策の必要性について検討した結果を提示します。

■前回委員会で議論したこと

- 事故ゼロプランの対策進捗状況の整理
- 対策未定箇所の抽出

■事故危険区間(第1期～第7期)の対策進捗状況



■今回委員会の確認・審議事項

- 対策未定箇所の対策の必要性検討
 - ・事故データによる判定
 - ・沿道状況による判定
 - ・事故危険区間からの除外可否の判断

対策未定箇所における対策の必要性検討

- ・事故ゼロプラン以外で実施された対策があったため、改めて対策実施状況等の精査を行い、対策未定箇所について見直しました。
- ・その結果、第7期事故ゼロプランまでの箇所のうち、21箇所が対策未定箇所であることが判明しました。
- ・この21箇所を対象に、検討フローに従って対策の必要性検討を行い、事故危険区間からの除外または経過観察の判断をします。

■選定期別の対策進捗状況(第7期まで)

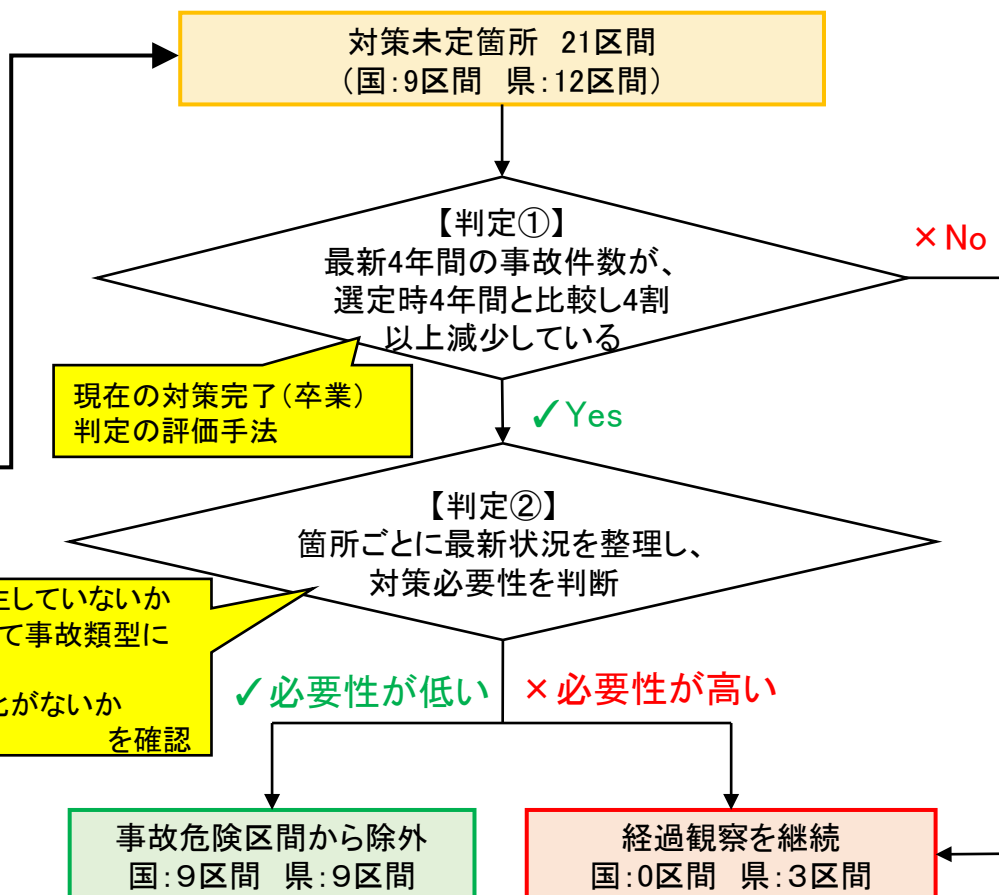
区分	選定 箇所数	対策実 施済み	対策未実施			
			対策予定 箇所		対策未定 箇所	
			国	県	国	県
第1期	61	61	0	0	0	0
第2期	111	111	0	0	0	0
第3期	126	113	0	11	1	1
第4期	63	52	5	1	5	0
第5期	103	82	1	18	1	1
第6期	47	33	2	5	2	5
第7期	22	8	6	3	0	5
合計	533	460	14	38	9	12

※注1) 対策予定箇所は事業中区間や第8期事故ゼロプランに選定されている区間を含む。

※注2) 管理者が市に移管している区間は除外している。

※注3) 第1期事故危険区間のモニタリングの対象は代表区間としている。

■検討フロー



※注4) 今後、第8期事故危険区間の指標に該当する場合は、対策区間に追加する。

個別整理事例：国道6号かすみがうら市清水交差点付近

- ・当該交差点は第6期事故危険区間に選定され、選定時には4年間で17件事故が発生していましたが、沿道環境の変化により従道路の見通しが改善し、事故が大幅に減少しました。
- ・これらを踏まえて、当該交差点は事故危険区間から除外したいと考えています。

【位置図】



【航空写真】



【概要(事故ゼロプラン選定理由等)】

項目	データ
イタルダ区間番号	08-T008226-000
路線名	国道6号
区間	かすみがうら市上稲吉
該当施策	第6期事故危険区間
選定指標	死傷事故件数・追突事故件数
死傷事故率	(選定時) 203.0件/億台キロ (最新) 0.0件/億台キロ
死傷事故件数	(選定時) 17件/4年 (最新) 0件/4年
事故件数 4割以上減少	○
事故状況や沿道状況の変化等	沿道環境の変化により、 見通しが改善
除外判定	○

選定時

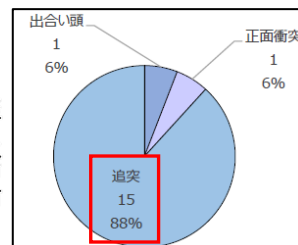
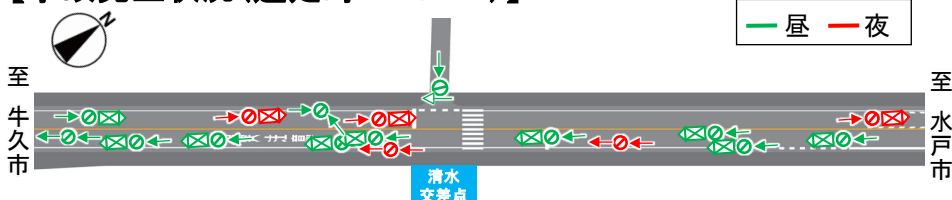


沿道環境の変化により、
従道路入口部の見通し
が改善

現在



【事故発生状況(選定時：H28-R1)】



【事故発生状況(最新：R3-R6)】



直近4年間で事故は
発生していない

※事故発生なし

対策未定箇所における対策の必要性検討結果

・各個別区間の必要性検討結果は以下の通りとなっており、国は全9区間で除外、県は12区間のうち9区間で除外の整理となります。

ID	管理者	路線名	市町村	箇所名	事故ゼロプラン 該当期	選定 年	死傷事故件数(件/4年)			判定②				除外判定結果	
							選定時	最新 (R3- R6)	減少率	判定①	重大事故* の有無	事故類型 の変化	沿道状況の変化	判定	理由
										4割以上 減少 ○達成 ×未達成					
1	常陸	一般国道51号	水戸市	塩崎交差点付近（区間）	第3期（ITデータ）	H26	11	0	100%	○	○	○	－	○	最新4年間で事故は発生していないため。
2	常陸	一般国道6号	日立市	城南町交差点	第4期	H28	12	1	92%	○	○	○	○	○	沿道環境の変化により、従道路の見通しが改善し、事故が約9割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
3	常陸	一般国道6号	日立市	国土交通省前交差点付近（区間）	第4期	H28	11	5	55%	○	○	○	－	○	ドライバーへの注意喚起対策の実施により、事故が約6割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
4	常陸	一般国道50号	水戸市	大工町2丁目（区間）	第4期	H28	14	3	79%	○	○	○	○	○	沿道環境の変化及びドライバーへの注意喚起対策の実施により、事故が約8割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
5	常陸	一般国道50号	水戸市	泉町3丁目西交差点付近（区間）	第4期	H28	21	1	95%	○	○	○	○	○	沿道環境の変化及びドライバーへの注意喚起対策の実施により、事故が約9割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
6	常陸	一般国道51号	潮来市	小泉交差点	第4期	H28	6	1	83%	○	○	○	○	○	沿道環境の変化により、従道路の見通しが改善し、事故が約8割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
7	常陸	一般国道6号	小美玉市	大曲三差路交差点付近（区間）	第5期	H30	6	0	100%	○	○	○	－	○	最新4年間で事故は発生していないため。
8	常陸	一般国道6号	かすみがうら市	かすみがうら市清水交差点付近（区間）	第6期	R3	17	0	100%	○	○	○	○	○	沿道環境の変化により、従道路の見通しが改善し、最新4年間で事故は発生していないため。
9	常陸	一般国道6号	龍ヶ崎市	牛久沼東交差点付近	第6期	R3	4	0	100%	○	○	○	－	○	最新4年間で事故は発生していないため。
10	茨城県	一般国道354号	つくば市	下萱丸（交差点）	第3期	H26	10	0	100%	○	○	○	○	○	周辺道路の開通や停止線の引き直しにより、事故が減少し、最新4年間で事故は発生していないため。
11	茨城県	一般国道118号	那珂市	平野台団地入口交差点付近（区間）	第5期	H30	12	0	100%	○	○	○	○	○	車線拡幅により、車両の走行性が向上し、最新4年間で事故は発生していないため。
12	茨城県	一般国道118号	常陸大宮市	（仮）常陸大宮市立 第二中北交差点	第6期	R3	8	3	63%	○	×	○	○	×	沿道環境の変化により、従道路の見通しが改善し、事故が減少したものの、最新4年間で重傷事故が1件発生しているため。
13	茨城県	県道7号	石岡市	行里川交差点	第6期	R3	9	5	44%	○	×	○	○	×	横断歩道の引き直し等により、事故が減少したものの、最新4年間で死亡事故が1件発生しているため。
14	茨城県	県道19号	つくば市	学園の森交差点	第6期	R3	8	3	63%	○	○	○	○	○	右折レーンの延伸や横断歩道の引き直しにより、事故が約6割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
15	茨城県	県道24号	つくば市	学園東大通り交差点	第6期	R3	15	4	73%	○	○	○	○	○	左折レーン周辺の防草対策により、見通しが改善し、事故が約7割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
16	茨城県	県道244号	つくば市	（仮）筑波学院大学前交差点	第6期	R3	8	3	63%	○	○	○	－	○	事故が約6割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
17	茨城県	一般国道294号	守谷市	百合ヶ丘3丁目交差点	第7期	R5	11	7	36%	×	×	×	－	×	事故が4割以上減少せず、継続的に発生しており、また、重傷事故も発生しているため。
18	茨城県	一般国道354号	行方市	行方市玉造（区間）	第7期	R5	8	2	75%	○	○	○	○	○	区画線の引き直しにより、事故が約8割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
19	茨城県	一般国道408号	牛久市	牛久愛和病院入口交差点	第7期	R5	8	3	63%	○	○	○	○	○	樹木の伐採により、従道路の見通しが改善し、事故が約6割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
20	茨城県	一般国道408号	つくば市	春日3丁目交差点	第7期	R5	12	3	75%	○	○	○	－	○	事故が約8割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。
21	茨城県	県道123号	つくば市	東新井交差点	第7期	R5	11	5	55%	○	○	○	－	○	事故が約6割減少しており、また、最新4年間で重大事故は発生していないため。

※重大事故：死者または重傷者が発生した事故

5. 幹線道路の交通安全対策検討

- 第8期事故ゼロプランの選定結果
- 対策優先度①区間における対策検討
- 最新事故データによる見直し(追加及び経過観察への移行)

第8期事故ゼロプランの選定結果

・第36回委員会および第37回委員会で掲載した、第8期事故危険区間選定結果について精査を行い、事故危険箇所を加えた第8期事故ゼロプランを以下のように選定しました。

第8期事故ゼロプランの選定結果(区間数)

茨城県内の幹線道路【約24,900区間】

最新事故データによる選定

総合的な指標

死傷事故率、死傷事故件数、死亡者数

県内の特徴的な事故の指標

歩行者・自転車事故 など

第4期追加指標

工作物接触事故、二輪車事故

第8期追加指標

・重傷者数

(理由: 上位計画での設定指標のため)

・死傷事故率と死傷事故件数

(理由: 事故率が低くても、事故件数が多い危険箇所があるため)

・小規模交差点の事故集中箇所

(理由: 信号未設置の細道路との交差点で事故が多発する危険箇所があるため)

第6次事故危険箇所

社会資本整備重点計画に基づいて選定される事故多発箇所

【第8期事故ゼロプラン】

国: 73区間 県: 66区間

(常陸: 67区間 宇都宮: 6区間)

※選定基準は、以下のうちもっとも小さい値を採用。「選定基準の根拠」にいずれかを記載。

①常陸河川国道管内の事故発生区間における平均事故件数の4倍

②常陸河川国道管内のワースト1位

③第7期の選定基準

※国管理は死傷事故件数が4件/4年以上の区間、県管理は8件/4年以上の区間を対象とする。但し、選定指標③「死亡者数」、⑥「子供事故」、⑬「重傷者数」については選定優先度が高いため、国管理は死傷事故件数が2件/4年以上の区間、県管理は4件/4年以上の区間を対象とする。

※選定指標⑭「死傷事故率と死傷事故件数」の選定基準の根拠は、茨城県内の幹線道路事故を対象とする。

※選定指標⑮「小規模交差点の事故集中箇所」は、死傷事故件数の数に関わらず、幅員5.5m未満の細道路との交差点で事故が多発している単路区間を対象とする。

■選定指標・基準

区分	選定指標	選定基準	常陸河川 国道管内 平均値 R2-R5	選定基準の根拠	(参考) 第7期の 選定基準	R2-R5 選定基準該当区間数			
						国		県	
						常陸	宇都宮		
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台キロ以上				11区間	1区間	9区間	
	②死傷事故件数	10件以上	2.4件	平均事故件数の4倍	16件	21区間	2区間	14区間	
	③死亡者数	2人以上	－	ワースト1位	2人	2区間	0区間	1区間	
県内の特徴的な事故に関する指標	④歩行者自転車事故	5件以上	1.3件	平均事故件数の4倍	8件	6区間	0区間	11区間	
	⑤夜間事故	6件以上	1.5件	平均事故件数の4倍	9件	7区間	2区間	4区間	
	⑥子供事故 (1当、2当を含む)	2件以上	－	ワースト1位	2件	2区間	0区間	7区間	
	⑦高齢者事故 (1当、2当を含む)	5件以上	－	過去の選定指標	5件	10区間	0区間	7区間	
	⑧横断歩行者事故	4件以上	－	ワースト1位	5件	1区間	0区間	3区間	
	⑨追突事故	8件以上	1.9件	平均事故件数の4倍	13件	12区間	1区間	2区間	
	⑩正面衝突事故	2件以上	－	ワースト1位	2件	3区間	0区間	0区間	
	追加指標 第4期	⑪工作物接触事故	1件以上	－	ワースト1位	1件	6区間	0区間	4区間
		⑫二輪車事故	3件以上	－	ワースト1位	3件	4区間	0区間	1区間
	追加指標 第8期	⑬重傷者数	4人以上	－	ワースト1位	－	2区間	1区間	4区間
⑭死傷事故率と死傷事故件数		100件/億台キロ以上 かつ8件以上	24.1件/億台キロ 1.9件	茨城県平均死傷事故率の4倍と 茨城県平均事故件数の4倍	－	40区間	5区間	38区間	
⑮小規模交差点の事故集中箇所		国:4件以上 県:5件以上	－	管理者別 ワースト1位	－	4区間	1区間	7区間	
事故危険箇所		社会資本整備重点計画に基づいて 選定される事故多発箇所				12箇所	2箇所	17箇所	
R2-R5 該当区間数 計 (1つの区間が複数指標に該当する場合のため単純和とは異なる)						67区間	6区間	66区間	

※赤字: 第36回・第37回委員会からの変更箇所

(訂正)第8期事故危険区間の選定結果:県管理

- ・第36回委員会で提示した県管理の第8期事故危険区間選定結果について、一部に不備がありましたので下記の通り訂正します。なお、数値の修正に伴う追加区間はありません。

■第36回委員会資料抜粋

No	事務所	路線名	交差点・ 区間	市区町村名	交差点名称	過去の事故で プランの事 当有無	基本指標					第4期追加指標		新たな指標		備考
							死傷事故 率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 軽自動車 事故件数	歩行者・ 自転車× 軽自動車 事故件数	二輪車事 故件数 (1当2当 の組み合 わせ)	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数	小規模交 差点の事 故集中箇 所	
基準値							300件/億 台キロ10 以上	10件以上	2人以上	5件以上	5件	5件以上	5件以上	100件/億 台キロ10 以上	国:4以上、 県:5以上	
1	茨城県	一般国道118号	交差点	常陸大宮市	常陸大宮市役所南交差点	第5期	203.6	4	0	1	0	0	0	0		
2	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	知手交差点		248.8	8	0	2	1	1	2	●		
3	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	水崎交差点		146.1	8	0	1	0	1	1	●		
4	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	神芝池交差点南交差点	第5期	146.1	8	0	2	0	0	0	●		
5	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	長瀬南交差点	第3期	152.1	8	0	2	0	0	1	●		
6	茨城県	一般国道124号	交差点	鹿嶋市	長瀬南交差点		95.1	5	1	1	1	0	3	●		
7	茨城県	一般国道124号	交差点	鹿嶋市	労働文化会館西交差点	第4次	152.1	8	0	2	0	2	1	●		
8	茨城県	一般国道125号	交差点	阿見町	中郷東交差点	第7期	564.4	12	0	2	0	0	2	●		
9	茨城県	一般国道125号	交差点	土浦市	小松坂下交差点	第5期	293.2	8	0	2	0	0	0	●		
10	茨城県	一般国道245号	交差点	ひたちなか市	関戸北交差点	第5期	239.3	8	0	1	0	1	3	●		
11	茨城県	一般国道294号	区間	取手市	寺田(区間)	第4期	41.4	12	1	2	0	1	2	●		●
12	茨城県	一般国道294号	交差点	常陸市	山田交差点		86.7	4	0	1	0	0	4	●		
13	茨城県	一般国道294号	交差点	筑西市	一本松交差点	第6期	398.9	11	0	1	1	1	2	●		
14	茨城県	一般国道354号	区間	古河市	下辺見(区間)		0.0	0	0	0	0	0	0	●		●
15	茨城県	一般国道354号	区間	土浦市	下高津3丁目(区間)		70.1	8	0	1	0	0	1	●		●
16	茨城県	一般国道354号	区間	土浦市	千束町(区間)		154.4	6	0	3	0	1	0	●		●
17	茨城県	一般国道354号	区間	土浦市	木田(区間)	第4期、第6期	112.6	8	0	2	0	0	0	●		
18	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	松代交差点	第5期	353.8	11	0	5	0	0	2	●		
19	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	西海道交差点		257.3	8	0	4	0	0	2	●		
20	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	国土庁検校前交差点		154.1	8	0	3	0	1	3	●		
21	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	西大滝入口交差点	第5期	179.9	8	0	1	0	0	1	●		
22	茨城県	主要地方道3号	交差点	つくばみらい市	(仮) 陽光台4丁目交差点		287.1	6	0	1	0	0	5	●		
23	茨城県	主要地方道7号	区間	石岡市	行蔵川交差点付近(区間)		47.2	14	1	2	0	0	2	●		
24	茨城県	主要地方道10号	区間	日立市	田沢町(区間)	第2期	129.1	9	0	0	0	0	1	●		
25	茨城県	主要地方道11号	区間	取手市	取手市東(区間)	第7期	62.0	9	0	2	0	0	1	●		
26	茨城県	主要地方道19号	交差点	つくば市	(仮) 三井物産交差点		159.2	4	2	0	0	0	0	●		
27	茨城県	主要地方道19号	区間	つくば市	研究学園交差点付近(区間)		100.5	8	0	1	0	1	2	●		
28	茨城県	主要地方道19号	交差点	つくば市	大境交差点		463.1	9	0	2	1	0	0	●		
29	茨城県	主要地方道19号	区間	つくば市	大境交差点付近(区間)		172.1	10	0	3	0	1	1	●		
30	茨城県	主要地方道23号	交差点	結城市	(仮) 芳賀崎交差点		0.0	7	0	0	0	1	8	●		
31	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	花交交差点	第6期	200.7	9	1	3	0	0	1	●		
32	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	吾妻4丁目西交差点	第5期	200.7	9	0	3	0	0	1	●		
33	茨城県	主要地方道25号	交差点	阿見町	阿見二区交差点	第5期	290.5	9	0	2	0	2	1	●		
34	茨城県	主要地方道25号	交差点	土浦市	(仮) 荒川沖駅入口交差点		181.0	8	0	0	0	1	0	●		
35	茨城県	主要地方道25号	交差点	牛久市	ひたも野車交差点		331.5	9	0	1	0	0	0	●		
36	茨城県	主要地方道25号	交差点	阿見町	阿見佳吉交差点	第5期	171.2	8	0	3	0	0	1	●		
37	茨城県	主要地方道30号	区間	水戸市	夏和(区間)		120.4	9	0	1	0	0	0	●		
38	茨城県	主要地方道34号	交差点	鹿嶋市	(仮) 藤ヶ丘7丁目交差点		158.0	4	0	2	1	0	1	●		
39	茨城県	主要地方道38号	区間	ひたちなか市	ひたちなか市市毛(区間)	第6期	129.4	10	0	4	0	0	1	●		
40	茨城県	主要地方道38号	交差点	ひたちなか市	(仮) 市毛交差点		314.0	8	0	0	0	2	0	●		
41	茨城県	主要地方道47号	交差点	取手市	新大利橋北交差点	第5期	338.3	10	0	2	0	1	3	●		
42	茨城県	主要地方道47号	区間	取手市	新大利橋北交差点付近(区間)		175.0	12	0	4	0	2	1	●		
43	茨城県	主要地方道48号	区間	牛久市	籠町(区間)		54.7	10	0	4	0	1	0	●		
44	茨城県	主要地方道49号	区間	福嶋市	江戸崎(区間)		129.1	6	0	1	0	0	2	●		●
45	茨城県	主要地方道50号	区間	水戸市	千波町(区間)		110.5	8	0	0	0	0	0	●		
46	茨城県	主要地方道52号	区間	石岡市	石岡(区間)		167.5	8	0	0	0	1	0	●		
47	茨城県	主要地方道52号	区間	水戸市	内庭町(区間)	第5期	50.3	5	0	0	0	1	0	●		
48	茨城県	主要地方道55号	交差点	つくば市	台谷入口交差点	第1期	270.9	10	0	3	0	0	1	●		●
49	茨城県	主要地方道63号	区間	ひたちなか市	鎌倉(区間)		46.3	10	0	5	0	1	0	●		
50	茨城県	一般都府県道123号	交差点	つくば市	小野崎交差点		185.5	9	0	1	0	0	0	●		
51	茨城県	一般都府県道123号	区間	常陸市	三坂新田町(区間)		50.5	10	0	0	0	0	0	●		●
52	茨城県	一般都府県道180号	区間	水戸市	元吉田町(区間)	第4次	177.5	10	0	0	0	0	0	●		
53	茨城県	一般都府県道208号	区間	取手市	藤代行倉車交差点	第7期	230.4	7	0	3	0	0	0	●		
54	茨城県	一般都府県道208号	交差点	取手市	谷中本田交差点	第2期	263.3	8	0	1	0	1	1	●		●
55	茨城県	一般都府県道208号	区間	鹿嶋市	小溝谷交差点付近(区間)		57.6	4	1	2	0	0	3	●		
56	茨城県	一般都府県道237号	交差点	つくば市	吾妻1丁目南交差点	第4次	182.5	9	0	1	0	1	0	●		
57	茨城県	一般都府県道267号	区間	五霞町	元荒瀬(区間)		0.0	4	0	1	0	0	4	●		
58	茨城県	一般都府県道272号	区間	牛久市	牛久消防署前	第5期	296.8	9	0	1	0	0	0	●		
59	茨城県	一般都府県道342号	交差点	水戸市	大工町2丁目交差点	第5期	380.4	8	0	0	0	1	0	●		



■訂正版

基本指標				数値の訂正										
死傷事故率	死傷事故件数	死亡者数	歩行者・自転車・軽自動車事故件数	夜間事故件数	二輪車事故件数	二輪車事故率(1当2当の組み合わせ)	重傷者数	死傷事故率と死傷事故件数	小規模交差点の事故集中箇所	対策完了(卒業)していた箇所				
300件/億台キロ以上	10件以上	2人以上	5件以上	3件以上	1件以上	3件以上	1人以上	100件/億台キロ以上	国：4以上、県：5以上					
203.6	4	0	2	0	0	1	0	2						
248.8	8	0	2	1	0	2	●							
146.1	8	0	4	0	0	1	1	●						
146.1	8	0	4	0	0	0	0	●						
152.1	8	0	0	0	0	0	1	●						
95.1	5	1	1	0	2	3								
152.1	8	0	3	0	1	1	1	●						
564.4	12	0	4	0	0	2	●							
293.2	8	0	5	0	0	0	0	●						
239.3	8	0	1	0	1	3	●							
41.4	12	1	6	0	1	2								
86.7	4	0	1	0	0	4								
398.9	11	0	2	1	0	2	●							
198.4	5	0	0	0	0	1								
70.1	8	0	4	0	2	1								
154.4	6	0	4	0	0	0								
112.6	8	0	0	0	1	0	●							
353.8	11	0	8	0	0	2	●							
257.3	8	0	1	0	0	2	●							
154.1	8	0	2	0	0	1	3	●						
179.9	8	0	3	0	0	1	●							
287.1	6	0	5	0	0	1	1							
47.2	14	1	5	0	0	2								
129.1	9	0	5	0	0	1	●							
62.0	9	0	5	0	0	1	1							
159.2	4	2	2	0	0	0	0							
100.5	8	0	3	0	0	0	2	●						
463.1	9	0	1	0	0	0	0	●						
172.1	10	0	3	0	1	1	1	●						
491.1	7	0	0	0	0	1	8	●						
200.7	9	1	1	0	0	1	0	●						
200.7	9	0	0	0	0	0	1	●						
290.5	9	0	4	0	0	0	1	●						
181.0	8	0	3	0	0	0	0	●						
331.5	9	0	2	0	0	1	0	●						
171.2	8	0	5	0	0	0	1	●						
120.4	9	0	0	0	0	0	0	●						
158.0	4	0	2	1	0	1								
129.4	10	0	2	0	1	1	1	●						
314.0	8	0	0	0	0	1	0	●						
338.3	10	0	6	0	0	3	3	●						
175.0	12	0	2	0	0	2	1	●						
54.7	10	0	0	0	0	0	0							
129.1	6	0	2	0	0	1	2							
110.5	8	0	1	0	0	0	0							
167.5	8	0	3	0	0	0	0	●						
50.3	5	0	0	0	0	0	0							
270.9	10	0	5	0	0	1	●							
46.3	10	0	1	0	0	0	0							
185.5	9	0	4	0	0	0	0	●						
50.5	10	0	1	0	0	0	0							
177.5	10	0	4	0	3	0	●							
230.4	7	0	7	0	0	0	4							
263.3	8	0	4	0	0	0	1	●						
57.6	4	1	4	0	0	0	3							
182.5	9	0	4	0	0	0	0	●						
95.6	4	0	0	0	0	1	4							
296.8	9	0	4	0	0	0	0	●						
380.4	8	0	2	0	0	0	0	●						

対策優先度①区間における対策検討：箇所一覧

- ・今回委員会では、第37回委員会で承認された優先度①区間について、要因分析・対策検討を行いましたので、検討結果を提示します。
- ・国管理の代表区間として大工町交差点および孫目十字路交差点、県管理の代表区間として中郷東交差点を対象に、対策検討結果をご説明します。

▼国管理区間（11区間）

※事故データ：R2～R5

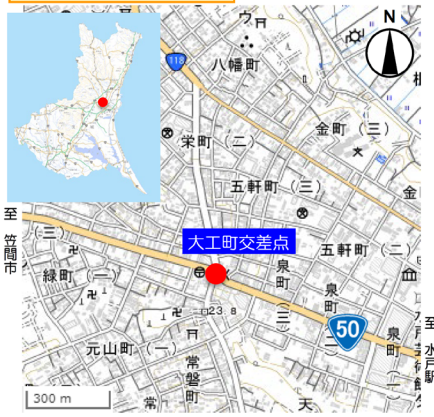
第37回委員会で承認済

No	事務所	路線名	交差点・ 単路	市区町村名	交差点名称	基本指標			地域指標							第4期追加指標		新たな指標			基準A			備考			
						死傷事故 率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 車両事故 件数	夜間事故 件数	子供（15 歳以下）事 故件数（1 当2当）	高齢者 （65歳以 上）事故 件数（1 当2当）	横断者歩 行者事故 件数	追突事故 件数	正面衝突 事故件数	工作物衝突 事故件数	二輪車事 故件数 （1当2当 の組み合 わせ）	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数	小規模交 差点の事 故集中箇 所	死傷事故 率	重大事故 率	死亡事故 率	事故危険 区間に該 当	事故危険 箇所に該 当	事故危険 箇所選定 基準	イタルダ区間番号
基準値						300件/億 台キロ以上	10件以上	2人以上	5件以上	6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	8件以上	2件以上	1件以上	3件以上	4人以上	100件/億 台キロ且つ 8件以上	国：4以上、 県：5以上	100以上	10以上	1以上				
1	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	下田彦南交差点	290.0	11	1	2	2	0	1	2	4	0	0	2	1	●		290.0	52.7	26.4	●	●	A	08-K007103-000
2	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	新川交差点	137.0	5	1	1	2	0	2	0	3	0	1	0	0			137.0	27.4	27.4	●	●	A	08-K000986-000
3	常陸	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	スタジアム前交差点	133.4	2	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0			133.4	66.7	66.7	●	●	A	08-K006379-000
4	常陸	一般国道6号	交差点	小美玉市	竹原下郷交差点	107.8	4	1	0	2	0	1	0	2	2	0	0	1			107.8	27.0	27.0	●	●	A	08-K060255-000
5	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	下稲吉（区間）②	98.5	7	0	2	0	0	1	0	6	1	0	1	0	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T062865-000
6	常陸	一般国道6号	単路	日立市	田尻浜入口交差点付近（区間）	77.6	4	0	0	3	0	1	1	3	0	0	0	1	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T060484-000
7	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	大工町交差点	515.8	14	0	3	3	0	4	1	3	0	0	0	2	●	●	-	-	-	●			08-K004338-000
8	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	孫目十字路交差点	395.5	15	0	4	5	0	5	1	6	0	0	0	4	●	●	-	-	-	●			08-K007149-000
9	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	水戸IC西交差点	344.3	5	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0			-	-	-	●			08-K008259-200
10	常陸	一般国道6号	交差点	日立市	旭町交差点	339.4	4	0	1	2	0	0	0	2	0	0	1	0			-	-	-	●			08-K007768-000
11	常陸	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	鹿嶋消防署南交差点	333.4	5	0	1	1	1	4	0	2	0	0	0	0			-	-	-	●			08-K006376-000

▼県管理区間（18区間）

No	事務所	路線名	交差点・ 単路	市区町村名	交差点名称	基本指標			地域指標							第4期追加指標		新たな指標			基準A			備考				
						死傷事故 率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 車両事故 件数	夜間事故 件数	子供（15 歳以下）事 故件数（1 当2当）	高齢者 （65歳以 上）事 故件数（1 当2当）	横断者歩 行者事故 件数	追突事故 件数	正面衝突 事故件数	工作物衝 突事故件 数	二輪車事 故件数 （1当2当 の組み合 わせ）	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数	小規模交 差点の事 故集中箇 所	死傷事故 率	重大事故 率	死亡事故 率	事故危険 区間に該 当	事故危険 箇所該当	事故危険 箇所選定 基準	イタルダ区間番号	
基準値						300件/億 台キロ以上	10件以上	2人以上	5件以上	6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	8件以上	2件以上	1件以上	3件以上	4人以上	100件/億 台キロ且つ 8件以上	国：4以上、 県：5以上	100以上	10以上	1以上					
1	茨城県	一般国道354号	単路	古河市	下辺見（区間）	198.4	5	0	5	1	0	1	0	0	0	0	0	1	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T063736-000	
2	茨城県	主要地方道19号	単路	つくば市	大境交差点付近（区間）	172.1	10	0	4	1	0	4	0	2	0	0	1	1	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T065711-000	
3	茨城県	主要地方道19号	交差点	取手市	（仮）二三成橋交差点	159.2	4	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0			159.2	39.8	39.8	●	●	A	08-K070800-000	
4	茨城県	一般国道354号	単路	土浦市	千束町（区間）	154.4	6	0	3	1	1	0	1	2	0	0	1	0	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T063256-000	
5	茨城県	主要地方道49号	単路	稲敷市	江戸崎（区間）	129.1	6	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	2	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T064350-000	
6	茨城県	一般国道354号	単路	土浦市	下高津3丁目（区間）	70.1	8	0	1	1	1	2	1	2	0	0	0	1	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T091678-000	
7	茨城県	一般都道府県道123号	単路	常総市	三坂新田町（区間）	50.5	10	0	0	4	0	2	1	6	0	0	0	0	●	●	-	-	-	●	●	B	08-T092828-000	
8	茨城県	一般国道125号	交差点	阿見町	中郷東交差点	564.4	12	0	2	3	0	6	2	2	0	0	0	2	●	●	-	-	-	●			08-K061003-000	
9	茨城県	主要地方道19号	交差点	つくば市	大境交差点	463.1	9	0	2	5	0	2	0	4	0	1	0	0	●	●	-	-	-	●			08-K006683-000	
10	茨城県	一般都道府県道357号	交差点	筑西市	（仮）黒子交差点	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	438.5	109.6	109.6	●		A	08-K002185-000	
11	茨城県	主要地方道25号	交差点	稲敷市	（仮）江戸崎甲交差点	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	433.0	108.2	108.2	●		A	08-K001002-000	
12	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	松代交差点	353.8	11	0	5	2	2	3	2	2	0	0	0	2	●	●	-	-	-	●			08-K006685-000	
13	茨城県	主要地方道47号	交差点	取手市	新大利根橋北交差点	338.3	10	0	2	6	0	6	2	3	0	0	1	3	●	●	-	-	-	●			08-K000805-000	
14	茨城県	主要地方道47号	単路	取手市	新大利根橋北交差点付近（区間）	175.0	12	0	4	6	0	4	0	5	0	0	2	1	●	●	-	-	-	●			08-T066091-000	
15	茨城県	主要地方道25号	交差点	牛久市	ひたち野東交差点	331.5	9	0	1	3	1	4	1	4	0	0	0	0	●	●	-	-	-	●			08-K006783-000	
16	茨城県	一般都道府県道272号	交差点	牛久市	牛久消防署前	296.8	9	0	1	5	1	3	2	4	0	0	0	0	●	●	-	-	-	●			08-K000975-000	
17	茨城県	一般国道124号	交差点	鹿嶋市	勤労文化会館西交差点	152.1	8	0	2	5	1	0	2	2	0	0	2	1	●	●	-	-	-	●			08-K006349-000	
18	茨城県	一般都道府県道237号	交差点	つくば市	吾妻1丁目南交差点	182.5	9	0	1	2	0	1	2	1	0	0	0	1	0	●	●	-	-	-	●			08-K006727-000

- ## 位置図



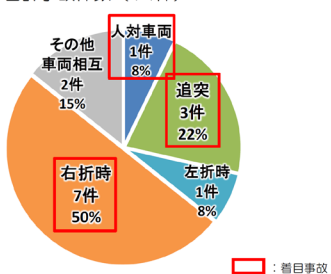
事故発生状況

・死傷事故件数：14件
・該当指標：死傷事故率300件/億台キロ以上(515.8件/億台キロ)、
死傷事故件数10件以上(14件/4年)、死傷事故率と死傷事
故件数8件以上かつ100件/億台キロ以上

※当該箇所は、第8期事故危険区間として選定。

事故類型

R2-R5の合計事故件数（14件）

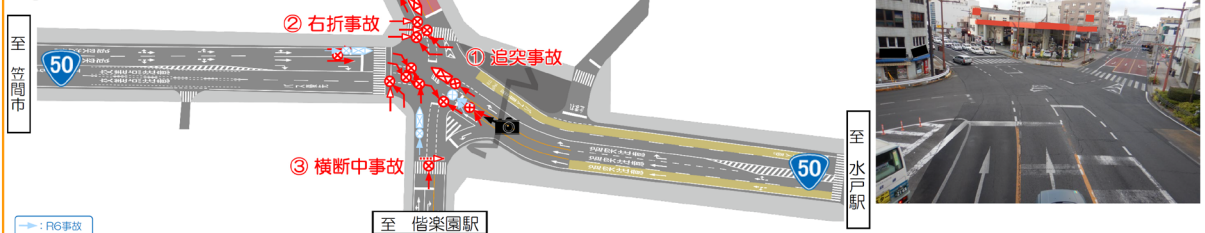


選定の視点

事故対策検討箇所					
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A	基準B
● (死傷事故・死傷事故件数)	—	—	● (死傷事故率と死傷事故件数)	—	—

事故発生状況

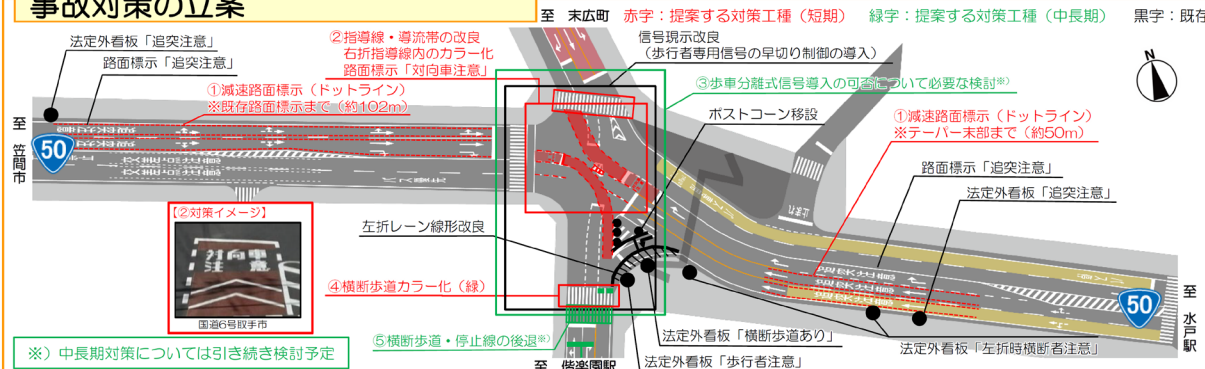
- | | |
|---------|------------|
| ① 追突事故 | 交差点付近で3件発生 |
| ② 右折事故 | 交差点内で7件発生 |
| ③ 横断中事故 | 交差点内で1件発生 |



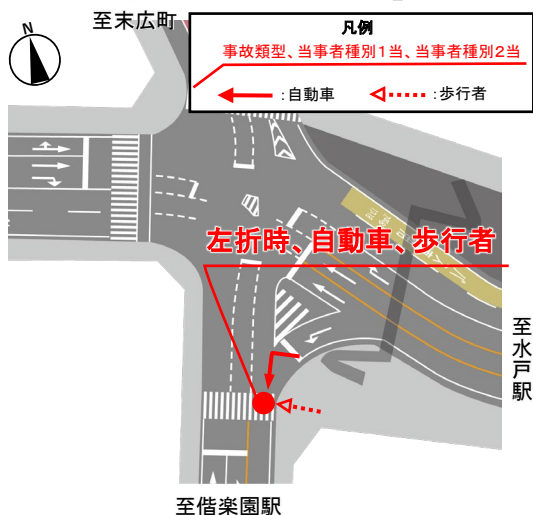
要因分析と対策方針

新たな着目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容案※	
①追突事故	慢性的に渋滞しており、運転者の注意不足による急減速に伴い後続車が追突していると考えられる	運転者への注意喚起	①減速路面標示（ドットライン）	短期
②右折事故	交差点内が湾曲化しているため対向直進車が見えづらく、見切りで右折した際に事故が発生していると考えられる	運転者への注意喚起 走行位置の明確化・ 運転者への注意喚起	②指導線および遮断帯の改良・ 右折指導線内のカラー化・ 路面標示「対向車注意」	短期
③横断中事故	横断歩道橋の階段や駐輪場に隠れて左折流入部の横断歩道が見えにくく、横断者に気づくのが遅れ、事故が発生していると考えられる	右折車両と対向直進車、 右左折車両と横断者 （自転車歩行者）との 交錯の削減 運転者への注意喚起	③歩車分離式信号導入の可否に ついて必要な検討 ④横断歩道カラー化（緑）	中長期 短期
		左折車両に対する横断者 （自転車歩行者）の 視認性の向上	⑤横断歩道・停止線の後退	中長期

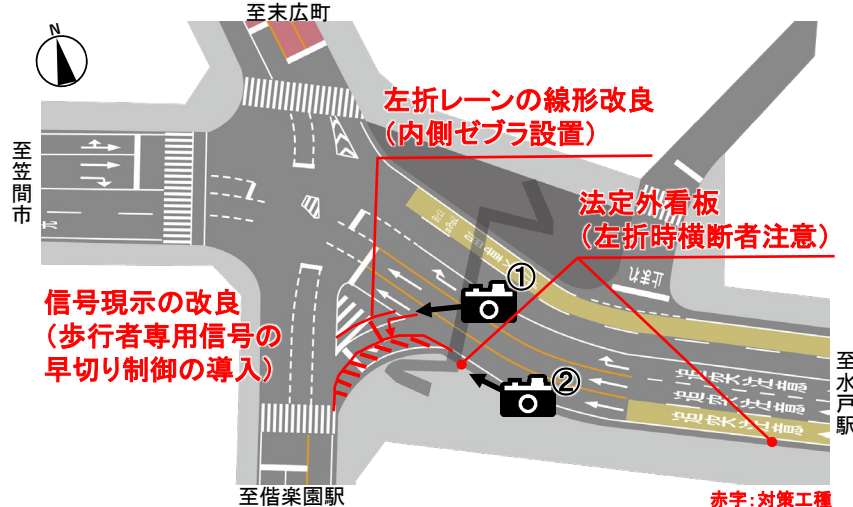
事故対策の立案



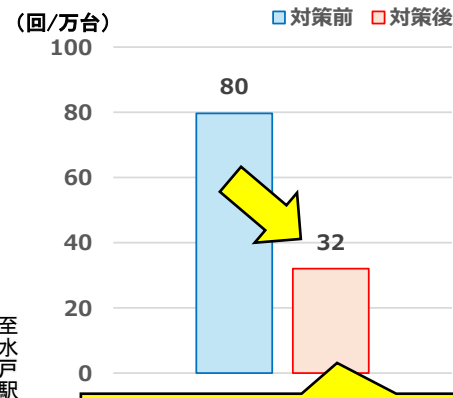
- 【令和7年11月に発生 of 死亡事故】**



【对策实施内容】



■左折車の急減速発生頻度



緊急対策により急減速の発生頻度が減少

出典：ETC2.0プローブデータ（対策前：令和7年9月、対策後：令和8年5月（速報値））

对策前



対策後



R8.1 実施

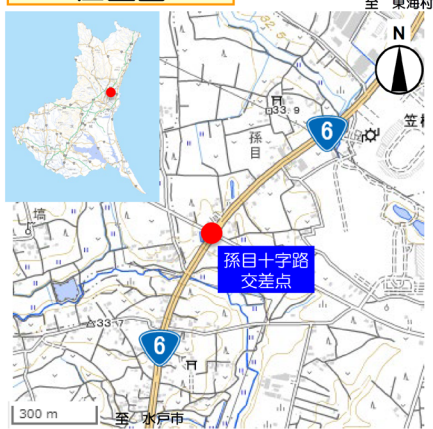


R8.4実施

対策優先度①区間における対策検討結果：孫目十字路交差点

- ・当該交差点は、第8期事故危険区間に該当しており、R2からR5までの4年間で15件の事故が発生しています。
- ・事故発生状況、要因分析を踏まえ、下記の通り対策検討を行いました。

位置図



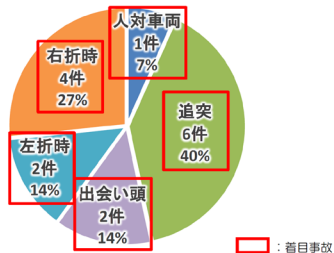
事故発生状況

R2-R5事故データ(選定時)

- ・死傷事故件数：15件
 - ・該当指標：死傷事故率300件/億台キロ以上(395.5件/億台キロ)、死傷事故件数10件以上(15件/4年)、高齢者事故件数5件以上(5件/4年)、重傷者数4人以上(4人/4年)、死傷事故率と死傷事故件数100件/億台キロ以上かつ8件以上
- ※当該箇所は、第8期事故危険区間として選定

事故類型

R2-R5の合計事故件数(15件)



選定の視点

事故対策検討箇所				
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A 基準B
● (死傷事故率・死傷事故件数)	● (高齢者事故件数)	—	● (高齢者事故率・死傷事故率と死傷事故件数)	—

事故発生状況

- ① 追突事故 交差点流入部で6件発生
- ② 交差点内事故 交差点内で9件発生
(出会い頭・左折・右折・横断中事故)



📷 現地写真

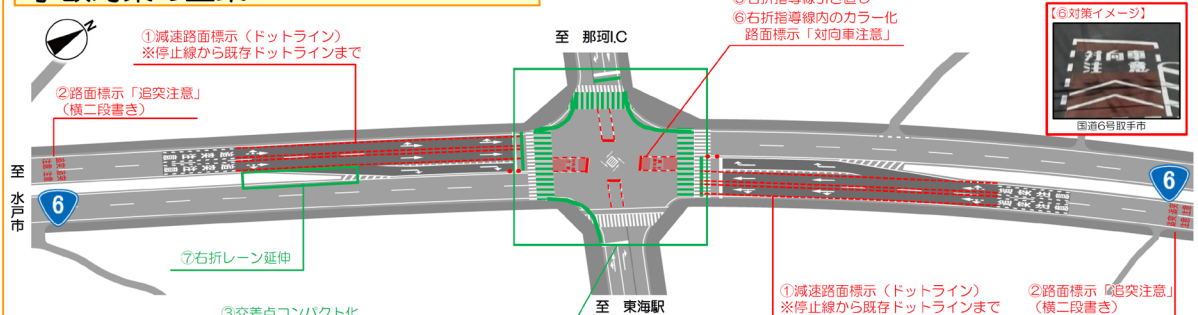


要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策
「中期」、「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

新たな首目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容案※
①追突事故	走行速度の高い車両が、信号切り替わり時に急減速することにより追突事故が発生。	走行車両の速度抑制	①減速路面標示(ドットライン)
②出会い頭事故	交差点面積が広いため、信号切り替わり時に判断を誤ったことによる無理な交差点進入が発生。	運転者への注意喚起	②路面標示「追突注意」(横二段書き)
③横断中事故	交差点の隅切りが緩やかな形状となっているため、左折時の走行速度が高くなり、左折での歩行者巻き込み事故が発生。	無理な交差点進入の抑制	③交差点コンパクト化(停止線・横断歩道の前出し、ポストコーン増設、隅切り改良)
④左折事故	交差点の隅切りが緩やかな形状となっているため、左折時の走行速度が高くなり、左折での歩行者巻き込み事故が発生。	左折時の速度抑制	⑤右折指導線引き直し
⑤右折事故	右折指導線が薄れているため、ドライバーが正しい走行位置がわからず、車両の右折位置がはらうている。	走行位置の明確化	⑥右折指導線内のカラー化、路面標示「対向車注意」
その他	主要渋滞箇所該当しており、東海村方面は、朝夕ピーク時に速度低下が顕著に見られるため、右折レーンからはみ出した車両が直進車線を阻害している可能性があると考えられる。	運転者への注意喚起	⑦右折レーン延伸

事故対策の立案

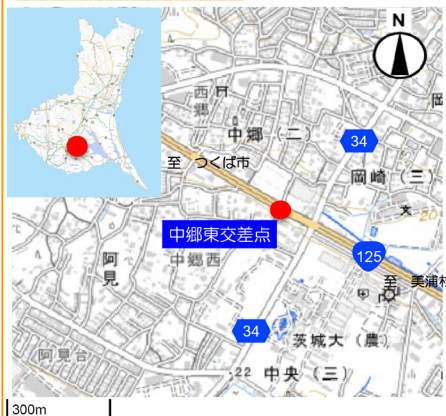


赤字：提案する対策工種(短期) 緑字：提案する対策工種(中長期) 黒字：既存

対策優先度①区間における対策検討結果：中郷東交差点

- ・当該交差点は、第8期事故危険区間に該当しており、R2からR5までの4年間で12件の事故が発生しています。
- ・事故発生状況、要因分析を踏まえ、下記の通り対策検討を行いました。

位置図



事故発生状況

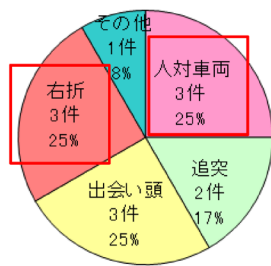
R2-R5事故データ(選定時)

- ・死傷事故件数：12件
- ・該当指標：死傷事故件数10件以上、高齢者(65歳以上)事故件数(1当2当)5件以上、死傷事故率と死傷事故件数(100件/億台キロかつ8件以上)

※当該箇所は、第8期事故危険区間として選定

事故類型

R2-R5の合計事故件数(12件)



□：善目事故

選定の視点

事故対策検討箇所					
基本指標	地域指標	第4期追加指標	新たな指標	基準A	基準B
死傷事故率、死傷事故件数	高齢者(65歳以上)事故件数(1当2当)	—	死傷事故率と死傷事故件数	—	—

事故発生状況

- ① 右折事故 交差点部で3件発生
- ② 人対車両事故 交差点部で2件発生、沿道施設出入口で1件



📷 現地写真

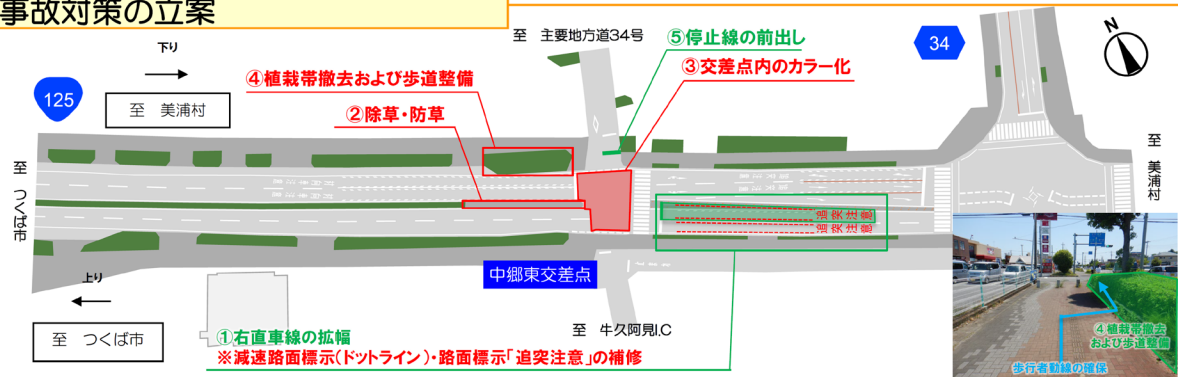


要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策
「中期」、「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

新たな着目事故	要因	対策方針	具体的な対策内容案※	
右折事故 (右折直進事故)	東進方向の右折車両が滞留している、または直進車両が渋滞しているときに西進方向の右折車両から対向直進車両を視認しにくい	対向車の視認性向上	①右直車線の拡幅 ※減速路面標示(ドットライン)・路面標示「追突注意」の補修	長期 短期
人対車両事故	市道から交差点に流入する方向は青信号時間が短く、車両側が焦って十分な安全確認をせず横断歩道を横切ってしまう傾向にある 交差点の北側に歩行者が東西に横断する際、歩道上に幅員の広い植栽帯があることで歩行者の車道流出位置が東西で異なり、車両からの視認性が悪い	注意喚起 歩行者の視認性向上	②除草・防草 ③交差点内のカラー化 ④植栽帯撤去および歩道整備 ⑤停止線の前出し	短期 短期 短期 長期

事故対策の立案



最新事故データによる見直し(追加及び経過観察への移行)

- 第8期事故ゼロプランでは、毎年、最新事故データを用いて、事故危険区間の追加や既存区間の経過観察への移行を検討する方針としており、今回、追加や経過観察への移行を検討しました。

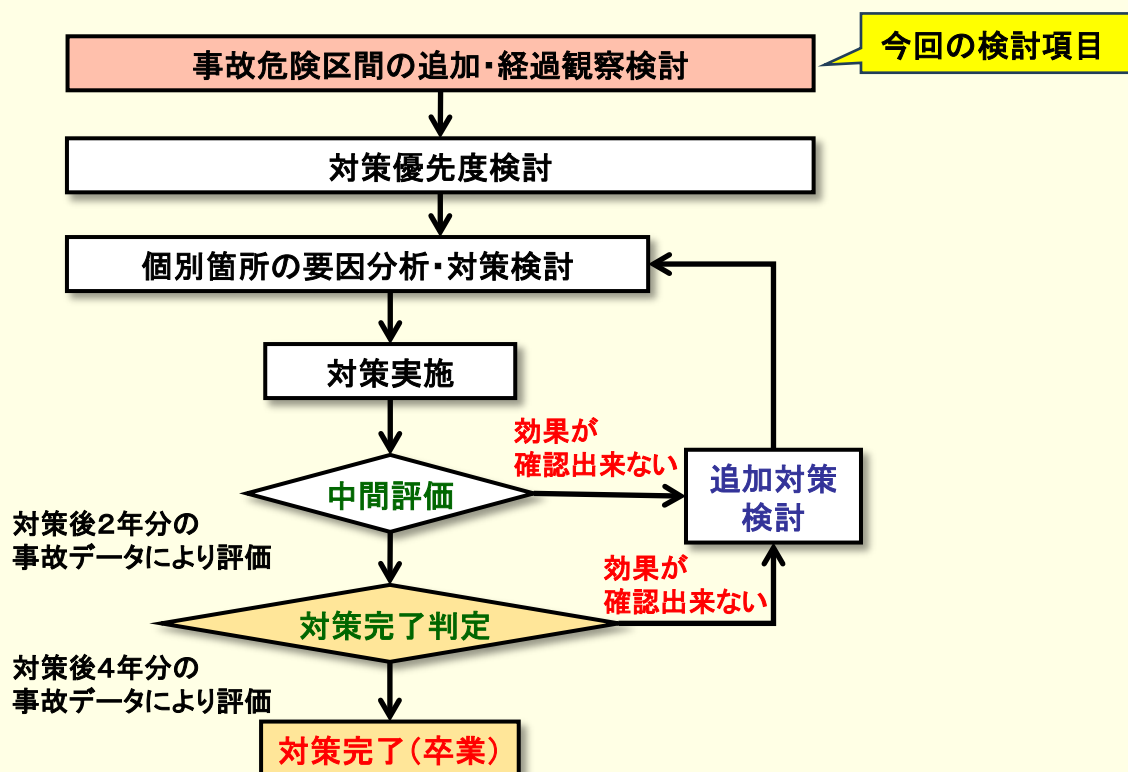
■【毎年】個別箇所単位でのPDCAサイクル

第36回委員会資料からの抜粋(内容は同委員会で承認済)

【ポイント】

事故危険区間選定後、交通状況や沿道施設の立地等に伴う変化により、事故発生状況が変わる可能性があるため、**毎年、最新データを用いて、事故危険区間の追加や要経過観察(対策設計・工事のペンディング)の検討を行う。**

なお、経過観察に該当した箇所について、計画終了段階でも基準を下回る場合は、そのまま解除する(経過観察中に事故が再度増加した場合は対策を行う)。



最新事故データによる見直し(追加及び経過観察への移行)

- ・第8期事故ゼロプランについて、最新事故データによる見直しを行い、新たに指標に該当した国23区間、県14区間が追加となりました。
- ・一方で、R7で該当していた区間のうち、指標非該当となった国22区間、県19区間は、経過観察区間へ移行します。
- ・次回委員会では、新規追加区間を含む第8期事故ゼロプラン(R8)を対象に、対策優先度の検討を行います。

■ 事故危険区間の最新事故データによる見直し

第8期事故ゼロプラン(R7)

国:73区間 県:66区間



R3-R6事故データによる新規追加区間

国:23区間 県:14区間



第8期事故ゼロプラン(R8)

国:96区間 県:80区間

うち経過観察区間

国:22区間 県:19区間

※R3-R6事故データで指標非該当

※事故危険箇所は最新事故データで非該当でも経過観察とはしない

【第8期事故ゼロプラン】

国:96区間 県:80区間

(常陸:88区間 宇都宮:8区間)

最新事故データによる見直し(追加及び経過観察への移行)

・最新事故データで新たに指標に該当した、以下の国23区間、県14区間の、計37区間が第8期事故危険区間に追加となります。

▼追加区間

※事故データ: R3~R6 該当指標

No	事務所	路線名	交差点・ 単路	市区町村名	交差点名称	基本指標			地域指標							第4期追加指標		新たな指標			備考 イタルダ区間番号
						死傷事故 率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 車両事故 件数	夜間事故 件数	子供（15 歳以下）事 故件数（1 当2当）	高齢者 （65歳以 上）事故 件数（1 当2当）	横断者歩 行者事故 件数	追突事故 件数	正面衝突 事故件数	工作物衝 突事故件 数	二輪車事 故件数 （1当2当 の組み合 わせ）	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数	小規模交 差点の事 故集中箇 所	
基準値						300件/億 台キロ以上	10件以上	2人以上	5件以上	6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	8件以上	2件以上	1件以上	3件以上	4人以上	100件/億 台キロ且つ 8件以上	国：4以上、 県：5以上	
1	宇都宮	一般国道4号	単路	古河市	高野交差点付近（区間）	14.9		4	0	0	1	0	1	0	3	0	1	0	2		08-T068124-100
2	宇都宮	一般国道4号	交差点	古河市	大堤交差点	363.4		7	0	5	4	2	2	0	2	0	0	0	1		08-K001930-000
3	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	取手駅西入口交差点	149.0		9	0	2	3	0	7	1	5	0	0	0	2	●	08-K006116-000
4	常陸	一般国道6号	単路	取手市	藤代交差点付近（区間）	55.9		8	0	0	5	0	0	0	8	0	0	1	0		08-T091132-000
5	常陸	一般国道6号	交差点	牛久市	学園都市南入口交差点	268.4		8	0	0	2	0	2	0	4	0	0	0	0	●	08-K007689-000
6	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	中村南3丁目交差点	369.0		11	0	3	1	1	3	0	6	1	0	1	2	●	08-K002816-000
7	常陸	一般国道6号	単路	土浦市	東小入口交差点付近（区間）	48.0		8	0	0	2	0	3	0	8	0	0	0	0		08-T092450-000
8	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	かすみがうら市上稲吉（区間）	87.9		6	0	0	6	0	1	0	6	0	0	0	0		08-T003986-000
9	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	下稲吉交差点付近（区間）	68.3		5	1	0	3	0	2	0	3	2	0	0	2		08-T062866-000
10	常陸	一般国道6号	交差点	石岡市	石岡市役所入口交差点	169.8		8	0	6	3	0	4	3	2	0	0	0	1	●	08-K003549-000
11	常陸	一般国道6号	単路	石岡市	旭台1丁目交差点付近（区間）	49.2		9	0	1	3	0	4	0	8	0	0	0	0		08-T091696-000
12	常陸	一般国道6号	単路	小美玉市	竹原交差点付近（区間）	61.3		10	0	0	2	0	2	0	9	1	0	0	1		08-T092880-000
13	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	原坪交差点	210.9		8	0	4	3	1	0	1	4	0	0	0	0	●	08-K061135-000
14	常陸	一般国道6号	交差点	日立市	鮎川橋交差点	118.7		5	0	1	1	0	5	1	3	0	0	1	0		08-K005134-000
15	常陸	一般国道6号	単路	日立市	桐木田交差点付近（区間）	39.7		2	2	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0		08-T005618-000
16	常陸	一般国道6号	交差点	北茨城市	ニッ島交差点	227.3		5	0	0	4	0	3	0	0	0	0	3	2		08-K005680-000
17	常陸	一般国道50号	単路	筑西市	布川西交差点付近（区間）	231.4		10	0	0	0	0	2	0	7	0	0	1	0	●	08-T090079-100
18	常陸	一般国道50号	単路	筑西市	玉戸交差点付近（区間）	25.4		7	0	2	5	1	1	0	4	0	0	3	3		08-T091658-000
19	常陸	一般国道50号	単路	水戸市	赤塚1丁目交差点付近（区間）	175.0		4	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	●	08-T061515-000
20	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	石川町交差点	329.0		8	0	0	1	0	5	1	1	0	0	1	1	●	08-K004359-000
21	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	自由が丘交差点	370.1		9	0	3	4	1	2	4	2	1	0	0	2	●	08-K004354-000
22	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	泉町3丁目西交差点	209.4		8	0	2	3	0	1	1	6	0	0	0	0	●	08-K070148-000
23	常陸	一般国道51号	交差点	水戸市	水戸市役所常澄庁舎交差点	191.9		5	0	1	1	1	1	0	2	0	1	0	0		08-K007074-000
24	茨城県	一般国道118号	交差点	常陸大宮市	上町交差点	458.1		9	0	1	2	0	3	1	3	0	0	0	0	●	08-K007178-000
25	茨城県	一般国道294号	交差点	守谷市	北国交差点	254.3		8	0	5	2	0	2	1	1	0	0	0	1	●	08-K000137-000
26	茨城県	一般国道294号	交差点	守谷市	新守谷駅前交差点	193.9		11	0	6	5	0	3	4	2	0	0	0	0	●	08-K006055-000
27	茨城県	一般国道294号	交差点	常総市	相平橋西交差点	311.6		9	0	0	5	0	0	0	4	0	0	1	0	●	08-K006660-000
28	茨城県	一般国道294号	交差点	常総市	（仮）三坂新田町交差点	277.0		8	0	0	4	0	0	0	5	0	0	0	1	●	08-K050115-000
29	茨城県	一般国道349号	交差点	水戸市	青柳町交差点	149.3		8	0	0	4	0	0	0	4	0	0	1	0	●	08-K007043-000
30	茨城県	一般国道354号	単路	古河市	古河二高入口交差点付近（区間）	172.9		8	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	0	●	08-T065831-000
31	茨城県	主要地方道19号	単路	つくば市	谷田部（区間）	69.5		4	3	0	2	0	0	1	2	0	0	1	0		08-T069337-100
32	茨城県	主要地方道24号	交差点	土浦市	千束町（交差点）	178.4		8	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	●	08-K006759-000
33	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	妻木交差点	200.7		9	0	0	4	0	0	1	0	0	0	1	3	●	08-K006873-000
34	茨城県	主要地方道25号	交差点	土浦市	荒川沖跨線橋西交差点	171.2		8	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	●	08-K002811-000
35	茨城県	主要地方道38号	単路	ひたちなか市	勝倉交差点付近（区間）	103.1		5	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	●	08-T061289-000
36	茨城県	主要地方道50号	交差点	水戸市	平須十文字交差点	196.6		6	2	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0		08-K003988-000
37	茨城県	主要地方道64号	単路	土浦市	中貫旧道十字路交差点付近（区間）	197.4		6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	●	08-T006833-000

最新事故データによる見直し(追加及び経過観察への移行)

・R7で第8期事故危険区間に選定されていた区間の中で、最新事故データで指標非該当となった、以下の国22区間、県19区間の、計41区間が経過観察となります。

▼経過観察区間

※事故データ: R3～R6

No	事務所	路線名	交差点・ 単路	市区町村名	交差点名称	基本指標			地域指標							第4期追加指標		新たな指標		備考	
						死傷事故 率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 車両事故 件数	夜間事故 件数	子供（15 歳以下）事 故件数（1 当2当）	高齢者 （65歳以 上）事故 件数（1 当2当）	横断者歩 行者事故 件数	追突事故 件数	正面衝突 事故件数	工作物衝 突事故件 数	二輪車事 故件数 （1当2当 の組み合 わせ）	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数		小規模交 差点の事 故集中箇 所
基準値						300件/億 台キロ以上	10件以上	2人以上	5件以上	6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	8件以上	2件以上	1件以上	3件以上	4人以上	100件/億 台キロ且つ 8件以上	国：4以上、 県：5以上	イタリア区間番号
1	宇都宮	一般国道4号	交差点	古河市	高野交差点	107.4	7	0	2	3	0	3	0	5	0	0	1	2		08-K001757-000	
2	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	白山前交差点	115.9	7	0	3	2	0	2	1	2	0	0	0	1		08-K060811-000	
3	常陸	一般国道6号	交差点	牛久市	みどり野田地西交差点①	234.8	7	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0		08-K050019-000	
4	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	中貫バイパス入口交差点	194.9	7	0	0	3	0	1	0	5	0	0	0	1		08-K050030-000	
5	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	（仮）中貫交差点	194.9	7	0	0	1	0	2	0	6	0	0	1	0		08-K070308-000	
6	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	上稲吉南交差点付近（区間）	97.0	7	0	1	4	0	1	0	6	0	0	1	0		08-T008227-000	
7	常陸	一般国道6号	交差点	小美玉市	堅倉交差点	134.8	5	0	1	3	0	2	0	2	1	0	0	0		08-K003580-000	
8	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	工業団地入口交差点	184.6	7	0	2	3	0	2	0	2	0	0	1	2		08-K070070-000	
9	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	佐和上宿交差点	52.7	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0		08-K061161-000	
10	常陸	一般国道6号	単路	那珂市	向山（区間）	80.7	6	0	0	1	0	2	0	6	0	0	0	0		08-T007567-000	
11	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	学園大橋南交差点	194.9	7	0	1	1	0	1	0	3	0	0	0	1		08-K060962-000	
12	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	都和陸橋交差点	194.9	7	0	2	3	0	1	0	4	0	0	0	1		08-K006903-000	
13	常陸	一般国道6号	交差点	日立市	石名坂交差点	166.2	7	0	0	2	0	1	0	5	0	0	0	0		08-K060441-000	
14	常陸	一般国道50号	交差点	結城市	城南小北交差点	195.0	7	0	2	3	0	0	1	4	0	0	0	2		08-K006595-000	
15	常陸	一般国道50号	単路	筑西市	玉戸（区間）④	121.4	7	0	1	2	0	2	0	3	0	0	1	1		08-T005272-000	
16	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	偕楽園北口交差点	257.9	7	0	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0		08-K004345-000	
17	常陸	一般国道50号	単路	水戸市	サントル千波交差点付近（区間）	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		08-T090103-100	
18	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	サントル千波交差点	141.0	7	0	1	2	0	2	0	2	1	0	0	0		08-K007008-000	
19	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	米沢町交差点	141.0	7	0	4	4	1	2	1	2	0	0	0	2		08-K007009-000	
20	常陸	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	神向寺交差点	133.4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		08-K006378-000	
21	常陸	一般国道51号	単路	鉾田市	大竹（区間）	13.4	2	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0		08-T009685-000	
22	常陸	一般国道51号	単路	鉾田市	柏熊（区間）	51.3	4	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1		08-T008264-000	
23	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	木崎交差点	109.6	6	0	2	1	0	2	1	1	0	0	1	0		08-K006161-000	
24	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	神之池交番前交差点	91.3	5	0	1	3	0	1	1	3	0	0	0	0		08-K006163-000	
25	茨城県	一般国道124号	交差点	神栖市	筒井北交差点	95.1	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		08-K006182-000	
26	茨城県	一般国道125号	交差点	土浦市	小松坂下交差点	256.5	7	0	3	4	0	2	2	2	0	0	0	0		08-K002782-000	
27	茨城県	一般国道294号	交差点	常総市	山田交差点	65.0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3		08-K006492-000	
28	茨城県	一般国道354号	単路	土浦市	木田余（区間）	56.3	4	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0		08-T090489-200	
29	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	西海道交差点	225.1	7	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2		08-K006695-000	
30	茨城県	一般国道408号	交差点	つくば市	西大通り入口交差点	134.9	6	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1		08-K006861-000	
31	茨城県	主要地方道3号	交差点	つくばみらい市	（仮）陽光台4丁目交差点	239.2	5	0	0	0	4	0	0	3	0	0	0	1		08-K000891-000	
32	茨城県	主要地方道10号	単路	日立市	田尻町（区間）	100.4	7	0	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0		08-T011345-000	
33	茨城県	主要地方道11号	単路	取手市	取手市東（区間）	48.2	7	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2		08-T004219-000	
34	茨城県	主要地方道24号	交差点	つくば市	吾妻4丁目西交差点	156.1	7	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0		08-K006734-000	
35	茨城県	主要地方道30号	単路	水戸市	見和（区間）	93.6	7	0	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0		08-T005709-000	
36	茨城県	主要地方道34号	交差点	龍ヶ崎市	（仮）藤ヶ丘7丁目交差点	197.5	5	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1		08-K070461-000	
37	茨城県	主要地方道38号	交差点	ひたちなか市	（仮）市毛交差点	274.8	7	0	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0		08-K060377-000	
38	茨城県	主要地方道50号	単路	水戸市	千波町（区間）	82.9	6	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0		08-T008090-000	
39	茨城県	主要地方道55号	交差点	つくば市	台坪入口交差点	189.6	7	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0		08-K006884-000	
40	茨城県	主要地方道63号	単路	ひたちなか市	勝倉（区間）	37.0	8	0	0	4	0	0	0	5	1	0	0	0		08-T071497-000	
41	茨城県	一般都道府県道342号	交差点	水戸市	大工町2丁目交差点	190.2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		08-K004342-000	

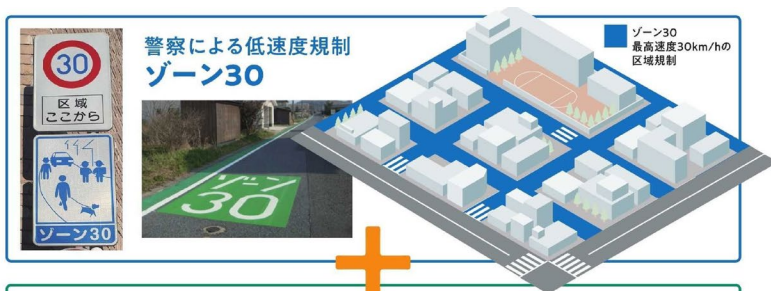
6. 生活道路の交通安全対策検討

- ・ ゾーン30プラスの概要
- ・ ゾーン30プラスの整備状況

ゾーン30プラスの概要

- ・国土交通省と警察庁が連携して進める生活道路の交通安全施策「ゾーン30プラス」は、令和3年8月に施策を開始しています。
- ・ゾーン30プラスでは道路管理者、警察、地域関係者が主体となって策定した計画を本委員会に報告するルールとなっています。

■ゾーン30プラスの整備イメージ



道路管理者による物理的デバイス設置

① 進入抑制対策



ライジングボード
ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物です。

② 速度抑制対策



ハンプ
路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。



スムーズ横断歩道
車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。



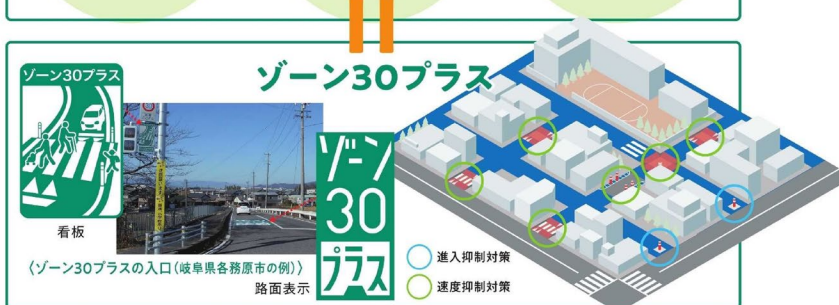
狭さく
車道の通行部分を局部的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。



シケイン（クランク型）
一定区間の道路を直線的に屈曲させ、車両の速度を抑制する構造物です。

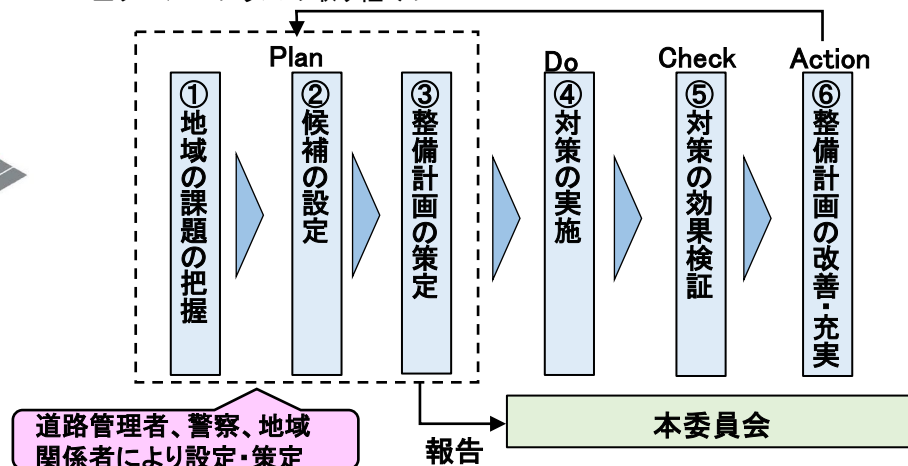


シケイン（スラローム型）
一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造物です。



出典：生活道路の交通安全ポータル(国土交通省HP)

■ゾーン30プラスの取り組みフロー



■茨城県内のゾーン30プラスの取り組み状況

No	策定時期	地区名	取り組み状況	主な対策内容
1	令和4年度	つくば市要地区	⑥整備計画の改善・充実	スムーズ横断歩道、ハンプ、狭さく
2	令和4年度	水戸市渡里地区	⑥整備計画の改善・充実	狭さく
3	令和4年度	常陸大宮市抽ヶ台町地区	⑥整備計画の改善・充実	ハンプ
4	令和4年度	常陸大宮市根本地区	④対策の実施	ハンプ
5	令和5年度	水戸市堀地区	⑥整備計画の改善・充実	シケイン
6	令和6年度	ひたちなか市外野地区	⑥整備計画の改善・充実	ハンプ
7	令和6年度	水戸市千波地区	⑥整備計画の改善・充実	スムーズ横断歩道
8	令和7年度	水戸市千波北地区	④対策の実施	シケイン

ゾーン30プラスの整備状況:水戸市千波北地区

- ・水戸市千波北地区において、地域住民、警察、学校関係者、道路管理者、交通安全協会等で合意形成を図りながら、交通規制、物理的デバイス設置等の「ゾーン30プラス」の整備計画を、令和8年1月に策定しています。
- ・その後、令和8年3月以降にシケインや路面標示等が設置され、対策完了となっています。

■概要

-位置図-



-計画作成年月-

R7. 11

-推進体制-

水戸市交通安全推進協議会

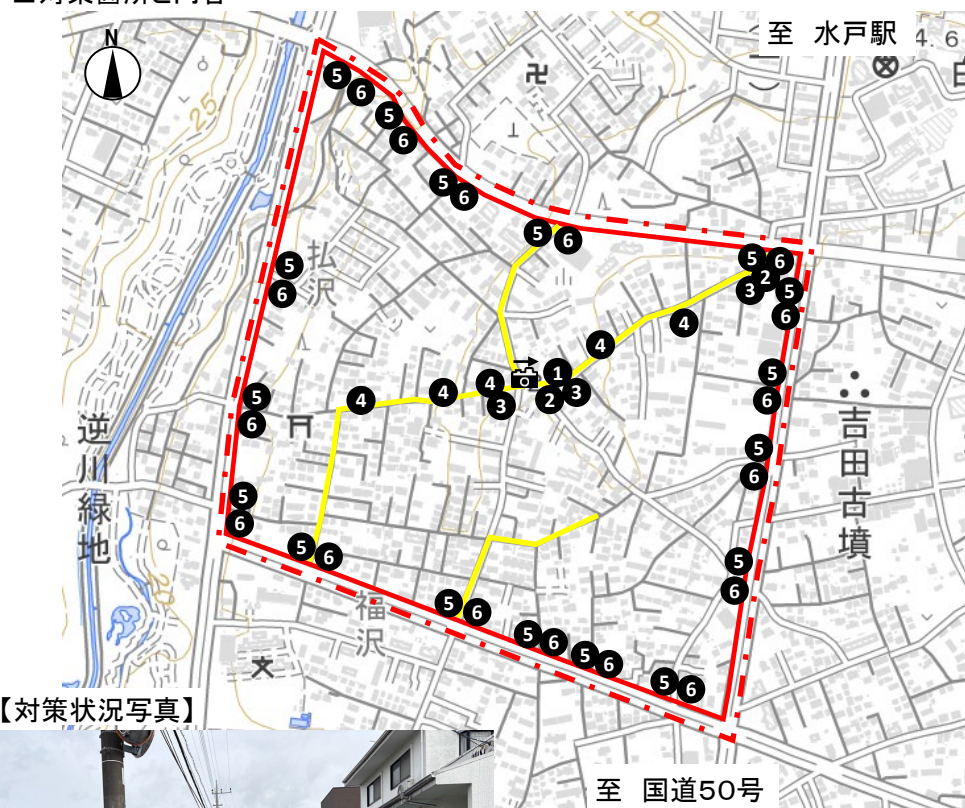
-構成メンバー-

- ・水戸警察署
- ・水戸市生活安全課、道路管理課
- ・水戸市教育委員会
- ・水戸地区交通安全協会水戸支部

■対策時期

No	対策内容	対策完了時期
1	シケイン	令和8年3月
2	グリーンライン(区画線を含む)	令和8年3月
3	路面標示(学童注意)	令和8年3月
4	路面標示(マウンテン)	令和8年3月
5	ゾーン30プラス路面標示	令和8年6月
6	ゾーン30プラス標識	令和8年6月
7	交通違反取締り	—
8	パトロール	—

■対策箇所と内容



【対策状況写真】



背景地図：国土地理院地図

凡例

- 整備区域(ゾーン30プラス)
- - - 整備区域に含まれない外周道路
- 通学路

凡例

- 対策完了
- 対策中
- 対策予定

7. 今後のスケジュール

今後の安全性向上委員会のスケジュール

○本日の委員会

1. これまでの経緯
2. 第37回委員会における主な指摘事項と対応
3. 対策効果未発現箇所の追加対策検討
4. 第7期までの事故ゼロプランのフォローアップ
5. 幹線道路の交通安全対策検討
6. 生活道路の交通安全対策検討
7. 今後のスケジュール

○合同現地診断(令和8年秋頃開催予定)

○次回 安全性向上委員会(令和9年2月頃開催予定)

- ・ これまでの経緯
- ・ 令和8年度合同現地診断結果
- ・ 事故危険区間の対策完了(卒業)判定
- ・ 幹線道路の交通安全対策検討
- ・ 生活道路の交通安全対策検討
- ・ 今後のスケジュール